

Cisco Business Edition 6000

事前設定オプション 10.6

リファレンス ガイド

目次

はじめに.....	2
ネットワークの準備.....	3
UCS サーバ IP アドレスの設定.....	4
既存のネットワークへの音声 IP サブネットの追加:.....	4
新しい DNS ドメインの作成:.....	4
事前に設定された OVA 設定.....	5
NTP 参照の更新:.....	6
DNS 参照の更新:.....	6
Date/Time 参照の更新:.....	7
ソフトウェア アップデートまたは言語パックのインストール:.....	8
デバイスの導入:.....	8
ユーザの導入:.....	8
Prime Collaboration Provisioning の管理.....	9
既存の設定の詳細:.....	10
ダイヤルプランのインポート.....	12
ユーザの管理.....	19
LDAP 同期.....	20
テキストファイルによるユーザのインポート.....	22
サイト固有のダイヤル.....	23
参考資料.....	26

はじめに

このマニュアルは、Cisco Business Edition 6000 事前設定イメージで使用されます。ネットワークを準備して事前設定イメージを起動するために、このガイドを使用します。

これらのイメージは、利便性のためだけに提供されており、インストール時には必要ありません。カスタマー ロケーションに配置する前に、ラボでこれらの設定を確認しておく必要があります。これらの事前設定イメージを使用しない場合は、ESXI 管理インターフェースを使用して UCS サーバからそれらを削除および除去してもかまいません。

事前設定されたユニファイド コミュニケーション ソリューションは、現在 4 種類のアプリケーションで構成されています。設定および導入が既に完了し、すぐに使用できるアプリケーションは次のとおりです。

- Cisco Prime Collaboration Provisioning (10.6)
- Cisco Unified Communications Manager (10.5.2)
- Cisco Unified Communications Manager IM & Presence Service (10.5.2)
- Cisco Unity Connection (10.5.2)

基本設定

セルフプロビジョニングによる自動登録がデバイスのプロビジョニングに設定されています。エンド ユーザのプロビジョニングに Prime Collaboration Provisioning を使用することを前提としていますが、これは必須ではありません。

サイト固有のダイヤルと設定の概要を以下に示します。これらの設定をそのまま使用しても、内線番号の範囲に一致するように変更してもかまいません。詳細については、「**サイト固有のダイヤル**」のセクションを参照してください。

- +E.164 ダイヤルがゲートウェイで設定されていることを前提としています。
- ダイレクトコール パーク/ピックアップは #1XXX/##1XXX で設定されています。
- ボイスメールへの直接転送は *1XXX で設定されます。
- MeetMe 会議は 731XXX で設定されています。
- オペレータ用の 0 はハントグループ 751000 を使用するように設定されています。このハントグループにオペレータを追加する必要があります。

「**設定の参照資料**」セクションには、事前設定イメージがデフォルトでどのように設定されているかが詳述されています。

事前設定イメージを使用できるように準備するには、次の手順に従ってください。

1. ネットワークの準備
 - a. 新しい 172.27.199.x ネットワーク サブネットを追加する
 - b. 逆引き参照を使用して、新しい DNS ゾーンを追加する
2. アプリケーションの認証情報の必須変更
 - a. 最初に、Cisco Unified Communications Manager のユーザ名とパスワードをリセットします。IM&P アプリケーションのクレデンシャルを変更する前に、すべてのサービスが実行されている必要があります。
3. すべてのアプリケーションの NTP 参照を更新する
4. すべてのアプリケーションの DNS 参照を更新する
5. すべてのアプリケーションの Date/Time 参照を更新する

ネットワークの準備

事前設定イメージに電源を投入する前にこのセクションを完了してください。

事前設定イメージが次のネットワーク設定で構成されています。

サブネット = 172.27.199.0/26

ドメイン = ciscolocal.com

各仮想マシンの電源投入後に、CLI を使用してすべてのアプリケーションの管理者ユーザ名とパスワードを作成します。

説明	VM マシン	IP アドレス	完全修飾ドメイン名
Cisco Prime Collaboration Provisioning	PCP_Small_PreInst_10.6.0-1015.1	172.27.199.10	pcp.ciscolocal.com
Cisco Unified Communications Manager	UCM1K_PreInst_K9_10.5.2.10000-5.1	172.27.199.11	ucm-pub.ciscolocal.com
Cisco Unity Connection	CUC1K_PreInst_K9_10.5.2.10000-5.1	172.27.199.12	ucn1.ciscolocal.com
Cisco IM & Presence	IMP1K_PreInst_K9_10.5.2.10000-10.1	172.27.199.13	imp1.ciscolocal.com

UCS サーバ IP アドレスの設定

事前設定イメージを使用するために定義する必要がある 2 つの UCS サーバ IP アドレスがあります。BE6000S の場合、以下のものがすでに設定されています。

ESXi ホスト: 172.27.199.2

管理インターフェース(CIMC) : 172.27.199.3

既存のネットワークへの音声 IP サブネットの追加:

これは、既存のネットワークに新しいサブネットを追加するためのクイックリファレンスです。音声ネットワークの完全な推奨事項については、BE6000 Cisco Validated Design を参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/solutions/enterprise/validated-designs-collaboration/index.html>

非 IOS ベースの DHCP サーバを使用する場合、IP アドレス 172.27.199.11 として定義されたオプション 150 を追加します。これにより、エンドポイントを 172.27.199.11 で Cisco Unified Communications Manager に登録できます。

- DHCP スコープを追加し、IP アドレス 172.27.199.11 として定義されたオプション 150 を追加します。
- 既存のデフォルト ゲートウェイにセカンダリ IP アドレス 172.27.199.0/26 を追加します。

新しい DNS ドメインの作成:

注: ローカル DNS サーバに新しいドメインを追加する必要があります。

アプリケーションは DNS を使用するように設定されており、DNS なしでは正常に機能しません。

という DNS サーバで、前方および逆引き参照ゾーンを作成します。

ciscolocal.com:

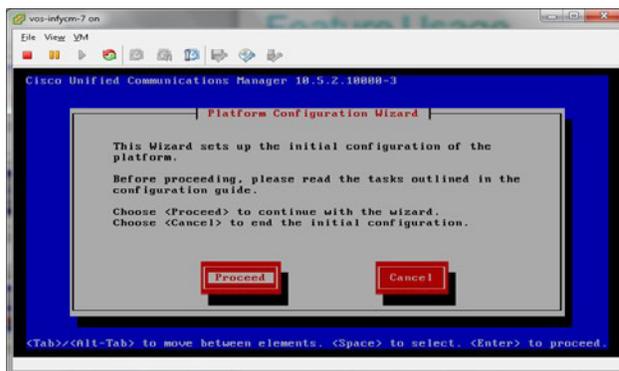
- pcp.ciscolocal.com - 172.27.199.10
- ucm-pub.ciscolocal.com - 172.27.199.11
- ucn1.ciscolocal.com - 172.27.199.12
- imp1.ciscolocal.com - 172.27.199.13

事前に設定された OVA 設定

クレデンシャルをリセットする前に、DNS 設定を含む「ネットワークの準備」セクションを完了しておいてください。

事前設定イメージが仮想マシンとしてすでに導入されている必要があります。

イメージの電源が投入された後に、**UCM**、**CUC**、および **IMP** コマンドライン インターフェイスから、パスワードのリセットウィザードが自動的に提供されます。クレデンシャルの変更要求に従ってください。クレデンシャルをリセットした後、ウィザードが完了するまで少し時間がかかることがあるため、お待ちください。イメージが自動的に再起動します。



PCP コマンドライン インターフェイスから、イメージの電源投入後にプロンプトで「**setup**」と入力します。

パスワードのリセットはすべてのアプリケーションで必須です。ウィザードを完了しなかった場合、または任意の時点でウィザードをキャンセルした場合、イメージはサービスをシャットダウンするか、どのサービスも開始しません。

Cisco Unified Communications Manager のパスワードのリセットを最初に実行してください。IM&P サーバのクレデンシャルを変更する前に、すべてのサービスが実行されている必要があります。

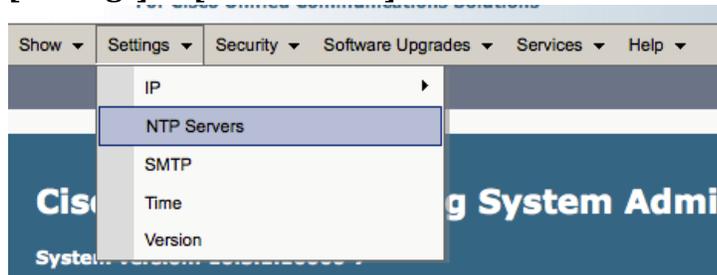
1. Cisco Unified Communications Manager (UCM1K_PreInst_K9_10.5.2.10000-5.1)。
2. Cisco Unity Connection (CUC1K_PreInst_K9_10.5.2.10000-5.1)。
3. Cisco Unified Communications Manager ですべてのサービスが実行された後、Cisco IM & Presence (IMP1K_PreInst_K9_10.5.2.10000-10.1) でクレデンシャルを変更する前。
4. Cisco Prime Collaboration Provisioning (PCP_Small_PreInst_10.6.0-1015.1)。

NTP 参照の更新:

アプリケーションは NTP 参照の一般的な設定でセットアップされています。GUI インターフェイスですぐに新しい NTP 参照を設定するには、この参照を変更する必要があります。

アプリケーションごとの Operating System Administration の Web ページにログインし、アプリケーションごとにこの手順を繰り返して行ってください (**ucm-pub**、**ucn1**、および **imp1**):

- **[Settings] >> [NTP Servers]** に移動します。



- 古い NTP サーバの参照を削除する前に、**[New NTP Server]** を追加します。
- **[Add New]** をクリックし、新しい NTP サーバの IP アドレスを入力します。
- 古い NTP 参照を選択し、**[Delete Selected]** をクリックします。

PCP の場合:

管理者アカウントを使用してコマンドライン インターフェイスにログインし、以下のコンフィギュレーション コマンドを実行します。

- `admin(config)# ntp server ip address`
- `admin(config)# exit`
- `admin# write memory`

DNS 参照の更新:

アプリケーションがホスト名を使用して設定されており、IP アドレスに対して解決する必要があります。正しい DNS エントリを持つ新しい `ciscolocal.com` ドメインがセットアップ済みである必要があります。

各アプリケーション (**ucm-pub**、**ucn1**、および **imp1**) のコマンドライン インターフェイスにログインします。DNS 設定を変更した後に、Tomcat サービスを再起動する必要があります。

各アプリケーション (**ucm-pub**、**ucn1** および **imp1**) で繰り返します。

コマンドライン インターフェイスにログインします。

- a. ネットワーク DNS のプライマリ **IP アドレス** を設定します。
- b. `utils service restart Cisco Tomcat`

PCP の場合:

管理者アカウントを使用してコマンドライン インターフェイスにログインし、以下のコンフィギュレーション コマンドを実行します。

- `admin(config)# ip name-server ip address`
- `admin(config)# exit`
- `admin# write memory`

Date/Time 参照の更新:

UCM-PUB の場合:

Date/Time 参照が GMT-8 に設定されています。

System ▾ Call Routing ▾ Media Resources ▾ Advanced Features ▾ Device ▾ Application ▾ User Management ▾ Bulk Administration ▾

Date/Time Group Configuration

Save Delete Copy Reset Apply Config Add New

Status
Status: Ready

Date/Time Group Information
Date/Time Group: PCP_Site One_DTG (used by 11 devices)
Group Name*
Time Zone* Entries with # are compatible with [legacy phone loads](#)
Separator* (applies to Date Format only)
Date Format*
Time Format*

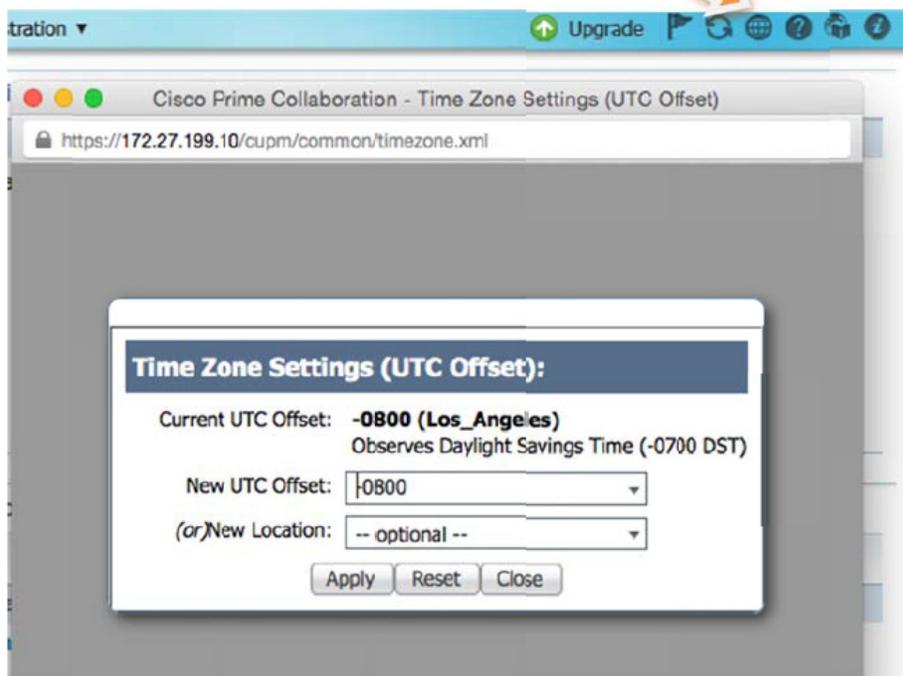
UCN1 の場合:

Date/Time 参照が GMT-8 に設定されています。

CLI から:

- `show timezone list` (これにより、時間帯のゾーン インデックスを取得できます)
- `set timezone zone index` (たとえば、タイムゾーン 132 を設定します)
- Unity Connection サーバを再起動します。

PCP の場合：
Date/Time 参照が次に設定されています。GMT-8



ソフトウェア アップデートまたは言語パックのインストール:

アプリケーションは、出荷時には最新の状態です。ただし、インストール後にパッチがリリースされることがあります。ここでソフトウェア アップデートをインストールすることをお勧めします。

また、言語パックが必要な場合もここでインストールしてください。

デバイスの導入:

デバイスの導入では、Cisco Unified Communications Manager の自動登録が有効になっています。DHCP オプション 150 が設定されている場合、電話機をネットワークに差し込む必要があります。

セルフプロビジョニングの短縮ダイヤル ボタンが自動登録されたデバイスに設定されています。

ユーザの導入:

Prime Collaboration Provisioning は、LDAP、テンプレートまたは手動設定を使用したエンドユーザの導入と管理のために使用されます。

次のセクション「Prime Collaboration Provisioning の管理」を参照してください。

Prime Collaboration Provisioning の管理

ここでは、Prime Collaboration Provisioning での既存のセットアップの概要と、ユーザの導入と管理のためのいくつかのベストプラクティスについて説明します。

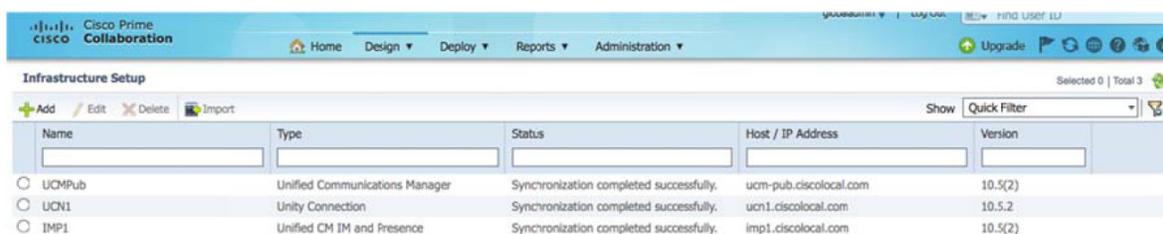
クレデンシャルと同期の両方がすべてのアプリケーションで変更された後に、Prime Collaboration Provisioning の使用を開始できます。

Cisco Prime Collaboration プロビジョニング IP アドレス: 172.27.199.10

PCP にログインし、**[Design] > [Infrastructure Setup]** に移動し、既存のインフラストラクチャデバイス(アプリケーション)を検索します。

適切なユーザ名/パスワード クレデンシャルで各アプリケーションを編集する必要があります。

- アプリケーション名を強調表示し、**[Edit]** を選択します。
- アプリケーションごとに新しいユーザ名とパスワードを入力します。



Name	Type	Status	Host / IP Address	Version
<input type="radio"/> UCMPub	Unified Communications Manager	Synchronization completed successfully.	ucm-pub.ciscocal.com	10.5(2)
<input type="radio"/> UCN1	Unity Connection	Synchronization completed successfully.	ucn1.ciscocal.com	10.5.2
<input type="radio"/> IMP1	Unified CM IM and Presence	Synchronization completed successfully.	imp1.ciscocal.com	10.5(2)

クレデンシャルを変更した後、アプリケーションごとのインフラストラクチャの同期を開始します。

アイコンの上にカーソルを合わせると、同期するオプションとともにポップアップが表示されます。



The screenshot shows the 'Device Details' page for the 'UCMPub' device. An orange arrow points to the 'Edit' icon in the 'Infrastructure Setup' table. The details include:

- Name: UCMPub
- Device Name: UCMPub-CiscoUnifiedCM
- Associated Unified CM IM and Presence: IMP1-CiscoUnifiedPresence
- IP Address: ucm-pub.ciscocal.com
- Type: Unified Communications Manager
- Version: 10.5(2)
- Device Protocol: HTTPS
- LDAP Directory Integration: None
- User Name: administrator
- Jabber Service: Enabled
- Self-Provisioning: Enabled

Test Connection: Tested 06-Jan-2015 11:22:52 +0000, Result: Success

Extension Mobility Details: Service Name: PCP_ExtensionMobility, Service URL: http://ucm-pub.ciscocal.com:8080/emapp/EMAppServlet?device=#DEVICENAME#&EMCC=#EMCC#

Infrastructure Synchronization: Started 22-Dec-2014 00:38:41 +0000, Completed 22-Dec-2014 00:39:36 +0000, Result: Completed

User Synchronization: Started 22-Dec-2014 00:44:07 +0000, Completed 22-Dec-2014 00:45:20 +0000, Result: Completed

Actions: Start Infrastructure Synchronization, Start User Synchronization, View Detailed Log, Test Connection, Servicesability

すべてのアプリケーションが正常に同期したら、Prime Collaboration Provisioning の使用を開始してユーザを管理することができます。Prime Collaboration Provisioning を使用して、ダイヤルプランをインポートすることもできます。詳細については、次のセクションにある「ダイヤルプランのインポート」を参照してください。

既存の設定の詳細:

[Design] > [User Provisioning Setup] に移動し、Cisco Prime Provisioning にすでに追加されているドメイン、サービスエリア、ユーザロール、サービステンプレートを検索します。

プロビジョニングの構造	プロビジョニングの構造名	詳細
ドメイン ドメインは、ユーザのグループです。ドメインごとに、1人以上の管理者を割り当てて、そのドメイン内のユーザのサービスを管理することができます。	Main	「Main」というドメインが1つだけ作成されています。
サービスエリア サービスエリアはサイトを表します。サービスエリアは、特定のサイトでのIPテレフォニー、メッセージング、プレゼンスサービスの構成と管理に使用されます。	Site One	「Site One」というサービスエリアが1つだけ作成されています。このサービスエリアには、コールプロセッサ、プレゼンスプロセッサとメッセージプロセッサの以下の設定が含まれています。
		コールプロセッサの設定
		名前
		ucm-pub-CiscoUnifiedCM
		場所
		PCP_Site One_LOC
		パーティション
		PCP_Base_PT
		デバイスプール
		PCP_Site_One_DP
		Communications Manager「ucm-pub-CiscoUniifedCM」には、以下の場所、パーティション、およびデバイスプールが作成されますが、このサービスエリアは PCP_Site One_LOC 場所、PCP_Base_PT パーティション、および PCP_Site_One_DP デバイスプールと関連付けられていることに注意してください。

プロビジョニング構造	プロビジョニング構造名	詳細								
		<p>ユニファイド プレゼンス プロセッサの設定</p> <table border="1"> <tr> <td>名前</td> <td>IMP1-CiscoUnifiedPresence</td> </tr> </table> <p>ユニファイド メッセージ プロセッサの設定</p> <table border="1"> <tr> <td>名前</td> <td>UCN1-CiscoUnityConnection</td> </tr> <tr> <td>Exchange Server</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>加入者テンプレート</td> <td> 1. voicemailusertemplate 2. PCP_UserTemplateWithTTS </td> </tr> </table>	名前	IMP1-CiscoUnifiedPresence	名前	UCN1-CiscoUnityConnection	Exchange Server	なし	加入者テンプレート	1. voicemailusertemplate 2. PCP_UserTemplateWithTTS
名前	IMP1-CiscoUnifiedPresence									
名前	UCN1-CiscoUnityConnection									
Exchange Server	なし									
加入者テンプレート	1. voicemailusertemplate 2. PCP_UserTemplateWithTTS									
ユーザ権限 ユーザ権限によって、特定のユーザーに割り当てることができるサービスが決まります。	Employee	これは、新規ユーザに割り当てられるデフォルトの権限です。 [Employee] ユーザ権限は、組織内での従業員の標準的な設定に合わせておく必要があります。								
	Executive	[Executive] という 2 番目の権限も、デフォルトで作成されます。この権限は、 [Employee] 権限より多くのサービスを含めるようにカスタマイズできます。したがって、 [Executive] 権限は、組織のエグゼクティブ用のものです。この権限は、必要に応じて名前を変更してカスタマイズすることができます。								
	Common Area	[Common Area] という 3 番目の権限も使用できます。この権限は、個別のユーザと関連付ける必要がないサービスをオーダーするために使用されます。								
サービス テンプレート サービス テンプレートは、特定のサービスの貫した属性セットをプロビジョニングするために使用します。 オーダーの際、 Prime Collaboration Provisioning は、サービスを作成するためにこれらのテンプレートを使用します。	デスクトップ用のデフォルトの Cisco Jabber テンプレート	デスクトップ用の Jabber ソフト クライアントをプロビジョニングするために使用するテンプレート。								
	デフォルトライン テンプレート	行のプロビジョニング中に共通属性を設定するために使用されるテンプレート。								
	デフォルトユーザ サービス テンプレート	ユーザ サービスの共通属性を設定するために使用するテンプレート								
	デフォルトボイスメール テンプレート	ボイスメールの共通属性を設定するために使用するテンプレート。								

ダイヤルプランのインポート

Cisco Unified Communications Manager は、国固有のダイヤルプランで設定されていません。特定のダイヤルプランを設定する必要があります。

便宜上、Prime Collaboration Provisioning ルートパターンおよびトランスレーションパターンテンプレートを使用して設定された、いくつかの国固有のダイヤルプランが用意されています。これらのテンプレートを使用して、Prime Collaboration Provisioning のバッチインポート時にダイヤルプランをインポートすることができます。

Prime Collaboration Provisioning テンプレートを使用したダイヤルプランのインポートの準備ができれば、次の手順を使用してください。

次の場所から、Cisco Business Edition 6000 Prime Collaboration Provisioning ダイヤルプランテンプレートをダウンロードします。

<http://www.cisco.com/go/be6kpreconfig>

ダイヤルプランのバッチテンプレートを使用して、特定のダイヤルプランをインポートできます。要件に合うように、これらのテンプレートを修正/追加/変更することができます。

注: 既存のルートリストに PSTN ゲートウェイを必ず追加してください: Cisco Unified Communications Manager の PCP_Site One_PSTN_RL。

事前設定イメージは、+E.164 ダイヤルを利用できるように設計されています。一部の国ルートプランには 2 種類のテンプレートが提供されています。

たとえば、次のような 2 種類の NANP テンプレートがあります。

- PCP-ROUTE_PATTERN-NANP.txt (ルートパターン)
- PCP-TRANSLATION-NANP.txt (トランスレーションパターン)

PCP-ROUTE_PATTERN-NANP:

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
OrderType	UserID	FirstName	LastName	ProductName	Domain	ServiceArea	Processor Name	Pattern	Description	Route P
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1911	Emergency	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1[2-8]11	Local Calls - Services	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1[2-9][02-9][2-9]XXXXXX	Long Distance Calls	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1[2-9]X[02-9][2-9]XXXXXX	Long Distance Calls	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1800XXXXXXX	Toll Free Calls	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1888XXXXXXX	Toll Free Calls	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1877XXXXXXX	Toll Free Calls	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1866XXXXXXX	Toll Free Calls	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1855XXXXXXX	Toll Free Calls	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+[*1]	International Calls	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+[*1]#	International Calls	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1555[2-9]XXXXXX	Local Calls	PCP3_S

ルートパターンのテンプレートを変更する場合、2つの列のみを変更する必要があります (パターンや説明)。他のすべての列は Cisco Unified Communications Manager の既存の設定を使用し、スタティックです。

実際の導入エリアコードのプレースホルダとしてエリアコード 555 を使用するすべてのパターンを変更する必要があります。

また、トランスレーションパターンのテンプレートを次の手順でインポートする必要があります。

PCP-TRANSLATION-NANP:

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
OrderType	UserID	FirstName	LastName	ProductName	Domain	ServiceArea	Processor Name	Translation Pattern	Description	Partition
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	9.911	Emergency	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	911	Emergency	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	9.[2-8]11	Local Services	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	91.[2-9] [02-9]X[2-9]XXXXXX	Long Distance Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	91.[2-9]X[02-9][2-9]XXXXXX	Long Distance Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	9.[2-9] [02-9]X[2-9]XXXXXX	Long Distance Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	9.[2-9]X[02-9][2-9]XXXXXX	Long Distance Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	91.800XXXXXXX	Toll Free Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	91.888XXXXXXX	Toll Free Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	91.877XXXXXXX	Toll Free Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	91.866XXXXXXX	Toll Free Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	91.855XXXXXXX	Toll Free Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	9011.!	International Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	9011.!	International Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	9011.!	International Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	9.555[2-9]XXXXXX	Local Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	91.555[2-9]XXXXXX	Local Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	9555.1234.XXX	Internal Calls	PCP_Base
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	91.555.1234.XXX	Internal Calls	PCP_Base
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1555.1234.XXX	Internal Calls	PCP_Base

トランスレーションパターンのテンプレートを変更する場合、2つの列のみを変更する必要があります(トランスレーションパターンや説明)。他のすべての列は Cisco Unified Communications Manager の既存の設定を使用し、スタティックです。

このトランスレーションテンプレートは提供されているルートパターンのテンプレートと一緒に使用できるように設計されています。プレースホルダのエリアコード 555 を導入サイトのエリアコードに変更する必要があります。

変更してから、Prime Collaboration Provisioning のダイヤルプランテンプレートをインポートします

1. ルートパターンダイヤルプランのテキストファイル(PCP-ROUTE PATTERN-NANP.txt など)を見つけて Excel で開きます。
2. 前述のように、必要な変更をルートパターンに加えて、タブ区切りのテキスト(.txt)ファイルとして保存します。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
OrderType	UserID	FirstName	LastName	ProductName	Domain	ServiceArea	Processor Name	Pattern	Description	Route P
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1911	Emergency	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1[2-8]11	Local Calls - Services	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1[2-9] [02-9]X[2-9]XXXXXX	Long Distance Calls	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1[2-9]X[02-9][2-9]XXXXXX	Long Distance Calls	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1800XXXXXXX	Toll Free Calls	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1888XXXXXXX	Toll Free Calls	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1877XXXXXXX	Toll Free Calls	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1866XXXXXXX	Toll Free Calls	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1855XXXXXXX	Toll Free Calls	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+[*]1!	International Calls	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+[*]1!	International Calls	PCP3_S
add	icadmin	IC	Administrator	Route Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1555[2-9]XXXXXX	Local Calls	PCP3_S

3. トランスレーションパターンダイヤルプランのテキストファイル (PCP-TRANSLATION- NANP.txt など) を見つけて Excel で開きます。
4. 前述のように、必要な変更をトランスレーションパターンに加えて、タブ区切りのテキスト(.txt)ファイルとして保存します。

OrderType	UserID	FirstName	LastName	ProductName	Domain	ServiceArea	Processor Name	Translation Pattern	Description	Partition
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	9.911	Emergency	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	911	Emergency	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	9.[2-8]11	Local Services	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	91.[2-9][02-9]X[2-9]XXXXXX	Long Distance Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	91.[2-9]X[02-9][2-9]XXXXXX	Long Distance Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	9.[2-9][02-9]X[2-9]XXXXXX	Long Distance Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	9.[2-9]X[02-9][2-9]XXXXXX	Long Distance Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	91.800XXXXXXX	Toll Free Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	91.888XXXXXXX	Toll Free Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	91.877XXXXXXX	Toll Free Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	91.866XXXXXXX	Toll Free Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	91.855XXXXXXX	Toll Free Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	9011.!	International Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	9011.#	International Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	9.555[2-9]XXXXXX	Local Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	91.555[2-9]XXXXXX	Local Calls	PCP3_Site
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	9555 1234.XXX	Internal Calls	PCP_Base
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	91555 1234.XXX	Internal Calls	PCP_Base
add	icadmin	IC	Administrator	Translation Pattern	Main	Site One	UCMPub-CiscoUnifiedCM	+1555 1234.XXX	Internal Calls	PCP_Base

5. Unified Communications Manager にルートプランおよびトランスレーションパターンを追加するために Prime にテキストファイルをインポートする必要があります。

Web ブラウザ ページを開き、<http://172.27.199.10/> を参照し、適切なクレデンシャルでログインします。

6. [Deploy] -> [Batch Provisioning] に移動します。



7. 新しいバッチ プロジェクトの設定



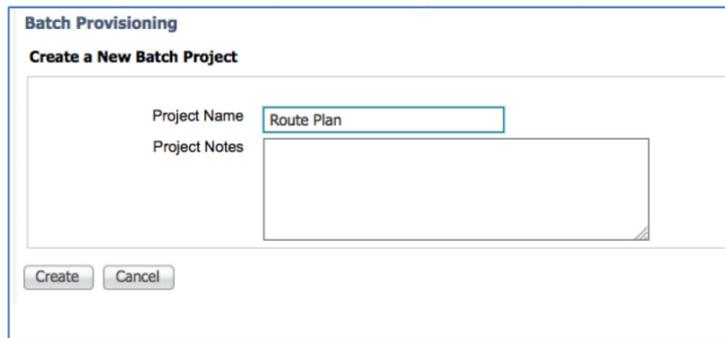
Cisco Prime
Cisco Collaboration

Batch Provisioning

Configure a Batch Project

Project Name   ←

8. プロジェクトに名前(ルートプラン)を付けて、[Create] をクリックします。



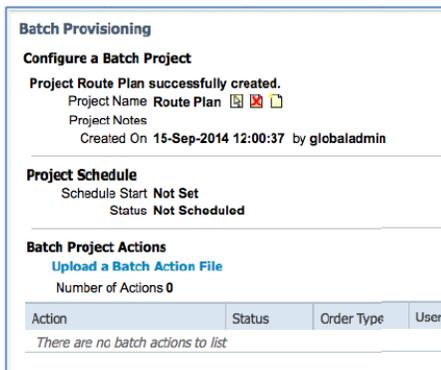
Batch Provisioning

Create a New Batch Project

Project Name

Project Notes

9. [Upload a Batch Action File] を選択します。



Batch Provisioning

Configure a Batch Project

Project Route Plan successfully created.
Project Name **Route Plan**  
Project Notes
Created On 15-Sep-2014 12:00:37 by globaladmin

Project Schedule

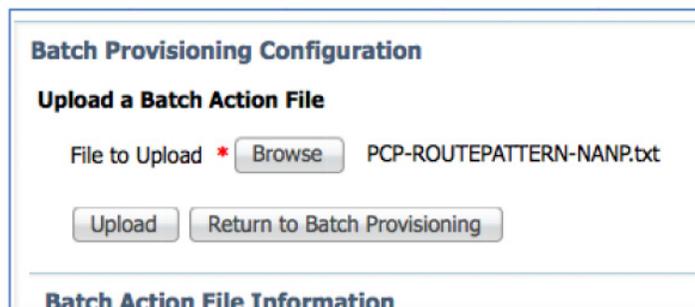
Schedule Start **Not Set**
Status **Not Scheduled**

Batch Project Actions

[Upload a Batch Action File](#)
Number of Actions 0

Action	Status	Order Type	User
There are no batch actions to list			

10. [Browse] を選択し、ルートパターン テキストファイルを選択します。[Upload] をクリックします。



Batch Provisioning Configuration

Upload a Batch Action File

File to Upload * PCP-ROUTE PATTERN-NANP.txt

Batch Action File Information

11. ファイルのアップロードが開始します。アップロードが完了します。ブラウザを更新してファイルを確認します。

Batch Project Actions

 File Upload In Progress [0] 

Upload file PCP-ROUTE PATTERN-NANP.txt started on 09/15/2014 12:25:36 UTC

Number of Actions 0

Action	Status	Order Type	User ID	Service
There are no batch actions to list				

12. ルートパターンのテンプレートをアップロードしたら、**[NOW]** をクリックしてバッチ ファイルのインポートを開始します。

Project Schedule

Schedule Start 15-Sep-2014 12:35:02
 Project Start Date/Time: **NOW**  
 Status  Scheduled 

Batch Project Actions

Number of Actions 12
 Filter Status

Action	Status	Order Type	User ID	Service	Service Area	Details
1	Not Started	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
2	Not Started	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
3	Not Started	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
4	Not Started	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
5	Not Started	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
6	Not Started	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
7	Not Started	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
8	Not Started	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
9	Not Started	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
10	Not Started	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
11	Not Started	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
12	Not Started	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View

ステータスが **[Completed]** に変更されるまで、**[Status Scheduled]** の横にある **[Refresh]** ボタンをクリックします。

Project Schedule

Schedule Start 15-Sep-2014 12:35:02
 Project Start Date/Time: **NOW**  
 Status  **Completed**
 Started on 15-Sep-2014 12:35:05
 Completed on 15-Sep-2014 12:35:17

Batch Project Actions

Upload a Batch Action File

Number of Actions 12 Completed 12 Failed 0
 Filter Status

Action	Status	Order Type	User ID	Service	Service Area	Details
1	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
2	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
3	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
4	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
5	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
6	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
7	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
8	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
9	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
10	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
11	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
12	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View

13. トランスレーションパターンをアップロードするには、[Upload a Batch Action File] を選択します。

Batch Project Actions
Upload a Batch Action File
 Number of Actions **12** Completed **12** Failed **0**
 Filter Status

Action	Status	Order Type	User ID	Service	Service Area	Details
1	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
2	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
3	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
4	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
5	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
6	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
7	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
8	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
9	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
10	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
11	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
12	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View

14. [Browse] を選択し、トランスレーションパターン テキスト ファイルを選択してから、[Upload] をクリックします。

Batch Provisioning Configuration
Upload a Batch Action File

File to Upload * PCP-TRANSLATION-NANP.txt

15. ファイルのアップロードが開始します。更新して、ファイルのアップロードが完了したことを確認することができます。

Batch Project Actions

 **File Upload In Progress [0%]** 

Upload file PCP-TRANSLATION-NANP.txt started on 09/15/2014 12:29:38 UTC

Number of Actions **12**

Filter Status

16. トランスレーションパターンのテンプレートをアップロードしたら、[NOW] をクリックしてバッチファイルのインポートを開始します。

Project Schedule
 Schedule Start 15-Sep-2014 12:51:32
 Project Start Date/Time: **NOW**  
 Status  **Scheduled** 

Batch Project Actions
 Number of Actions 31
 Filter Status

Action	Status	Order Type	User ID	Service	Service Area	Details
1	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
2	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
3	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
4	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
5	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
6	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
7	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
8	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
9	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
10	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
11	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
12	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
13	Not Started	add	icadmin	Translation Pattern	Site One	View
14	Not Started	add	icadmin	Translation Pattern	Site One	View
15	Not Started	add	icadmin	Translation Pattern	Site One	View
16	Not Started	add	icadmin	Translation Pattern	Site One	View

ステータスが **[Completed]** に変更されるまで、**[Status Scheduled]** の横にある **[Refresh]** ボタンをクリックします。

Project Schedule
 Schedule Start 15-Sep-2014 12:51:32
 Project Start Date/Time: **NOW**  
 Status  **Completed**
 Started on 15-Sep-2014 12:51:34
 Completed on 15-Sep-2014 12:51:55

Batch Project Actions
[Upload a Batch Action File](#)
 Number of Actions 31 Completed 31 Failed 0
 Filter Status

Action	Status	Order Type	User ID	Service	Service Area	Details
1	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
2	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
3	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
4	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
5	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
6	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
7	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
8	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
9	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
10	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
11	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
12	Completed	add	icadmin	Route Pattern	Site One	View
13	Completed	add	icadmin	Translation Pattern	Site One	View
14	Completed	add	icadmin	Translation Pattern	Site One	View
15	Completed	add	icadmin	Translation Pattern	Site One	View
16	Completed	add	icadmin	Translation Pattern	Site One	View
17	Completed	add	icadmin	Translation Pattern	Site One	View
18	Completed	add	icadmin	Translation Pattern	Site One	View
19	Completed	add	icadmin	Translation Pattern	Site One	View
20	Completed	add	icadmin	Translation Pattern	Site One	View

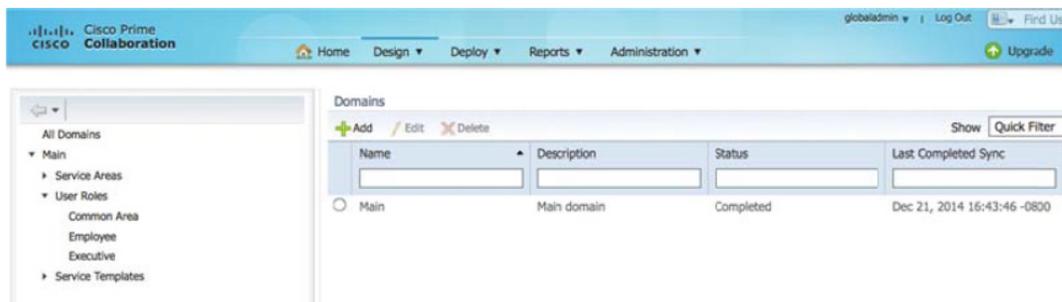
ルート パターンおよびトランスレーション パターンが Unified Communications Manager に正常に追加されました。

ユーザの管理

ユーザとは、IP Telephony サービスがアクティブになっている個人を指します。Cisco Prime Collaboration Provisioning を使用して、ユーザを追加したり、ユーザ情報を同期化したり、サービスを適用したり、ユーザ情報を更新したりできます。

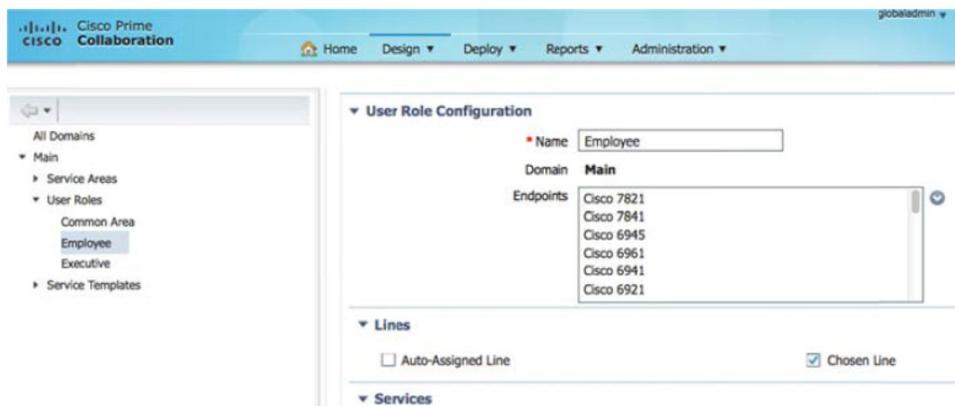
ユーザ権限とは、組織内でユーザが持っている権限を指します。この権限は、ユーザがアクセス権を持つサービスを示します(たとえば、電話機のモデルタイプ、Jabber、または SNR)。システムでは 3 種類のユーザ権限 ([Executive]、[Employee]、[Common Area]) があらかじめ定義されています。

[Design] > [User Provisioning Setup] に移動して、ユーザ権限を確認できます。



[Employee] ユーザ権限は、デフォルトのユーザ権限です。共通サービスとエンドポイントのほとんどが選択されています。

ユーザ権限を確認することによって、すべてのエンドポイントが使用可能になっていることと、ユーザが作成されるたびにデフォルトで有効にするすべてのサービス(たとえば、SNR またはエクステンション モビリティ)が選択されていることも確認できます。

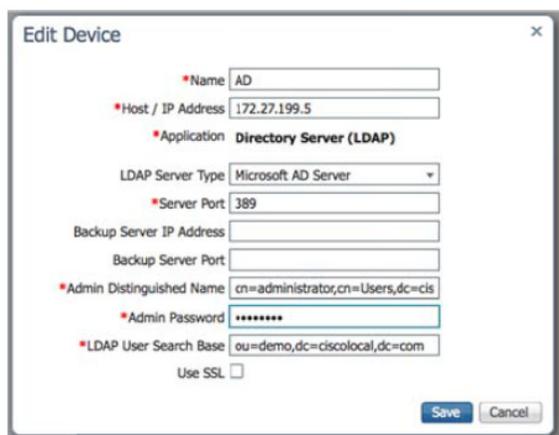


LDAP 同期

Cisco Prime Collaboration Provisioning は、外部の Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) サーバからのユーザ/加入者を同期するように設定できます。この機能によって、Cisco Prime Collaboration Provisioning は関連した LDAP ソースからユーザ ID をユーザ データベースに直接取り込むことができます。LDAP 同期の設定およびスケジューリングは PCP ドメイン設定によって行われます。

フィルタクエリを設定することにより、Cisco Prime Collaboration Provisioning でユーザを特定のユーザ権限に自動的に割り当てることができます。これにより、同期したときに自動的にサービスが作成されます。ユーザ権限の詳細については、「ユーザの管理」セクションを参照してください。

AD サーバを Prime Provisioning に追加するには、**[Design] > [Infrastructure Setup]** に移動し、新しいデバイスのディレクトリサーバタイプ (LDAP) を追加します。



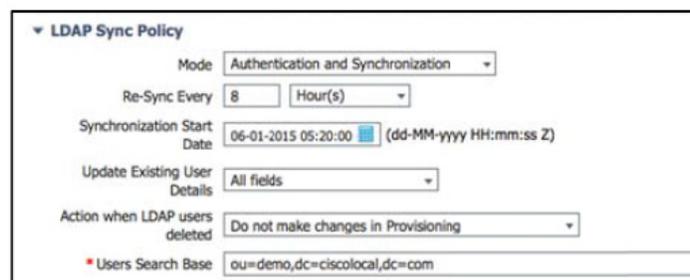
The screenshot shows the 'Edit Device' configuration window for an LDAP server. The fields are as follows:

- Name: AD
- Host / IP Address: 172.27.199.5
- Application: Directory Server (LDAP)
- LDAP Server Type: Microsoft AD Server
- Server Port: 389
- Backup Server IP Address: (empty)
- Backup Server Port: (empty)
- Admin Distinguished Name: cn=admin, cn=Users, dc=cis
- Admin Password: (masked with asterisks)
- LDAP User Search Base: ou=demo, dc=ciscocal, dc=com
- Use SSL:

Buttons: Save, Cancel

LDAP サーバを設定したら、PCP ドメイン設定に割り当てする必要があります。**[Design] > [User Provisioning Setup]** に移動し、「Main」PCP ドメインを編集します。

- [Devices] セクションで、セキュリティサーバのドロップダウンメニューで作成したばかりの LDAP サーバを選択します。
- [LDAP Sync Policy] セクション
 - **[Authentication and Synchronization]** を選択します
 - **[Re-Sync Every]** (LDAP 同期ポリシーの作成)
 - **[Users Search Base]** を入力します



The screenshot shows the LDAP Sync Policy configuration window. The fields are as follows:

- Mode: Authentication and Synchronization
- Re-Sync Every: 8 Hour(s)
- Synchronization Start Date: 06-01-2015 05:20:00 (dd-MM-yyyy HH:mm:ss Z)
- Update Existing User Details: All fields
- Action when LDAP users deleted: Do not make changes in Provisioning
- Users Search Base: ou=demo, dc=ciscocal, dc=com

- **[LDAP field Mappings]** ウィンドウで、導入に合わせて適切な変更を行います。

Provisioning User Field	LDAP Attribute
User ID	sAMAccountName
First Name	givenName
Middle Name	initials
Last Name	sn
Contact Phone Number	telephoneNumber
Contact Email	mail
Directory URI	mail
Manager ID	manager
Department	department
Title	title
Home Number	homephone
Mobile Number	mobile
Pager Number	pager

- **[Service Area LDAP Filters]** で、この設定を構成し、セルフ プロビジョニング用に **Unified Communications Manager** のユーザを自動的にプロビジョニングし、追加サービスを作成します(たとえば、ボイス メールボックスまたは SNR)。この例では、すべてのユーザは、**[Employee]** ユーザ権限を使用して作成されます。

Service Area LDAP Filters

User Synchronization Filters for Service Areas
If you are synchronizing users from LDAP server for Automatic Service Provisioning, use the following filters to specify which Service Area should be used for provisioning the services for the users.

Service Area Name	Filter	Line Settings
Site One	User ID = *	

異なるサービスを使用してユーザを自動的にプロビジョニングするために、追加の LDAP フィルタ ベースを作成できます。

LDAP 同期の詳細については、Cisco Prime Collaboration Provisioning ユーザガイドを参照してください:

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/prime-collaboration/tsd-products-support-series-home.html>

テキストファイルによるユーザのインポート

テキストファイルは、ユーザをインポートするもう一つの方法です。

次の場所から、ユーザ インポートファイル *AddUser.txt* を含む、Cisco Business Edition 6000 Prime Collaboration Provisioning バッチ テンプレートをダウンロードできます。

<http://www.cisco.com/go/be6kpreconfig>

Excel を使用してサンプル ファイル (.txt) を編集できます。オレンジでマークされた列は、デフォルト設定に基づいてすでに定義されています。これらの設定を変更しないでください。

ユーザーが定義するために必要なその他の項目は次のとおりです。

- UserID
- FirstName
- LastName
- Phone Number
- 自動プロビジョニング電話番号

スプレッドシートのその他の設定をすべて更新します。更新されたスプレッドシートをタブ区切りのテキストファイルとして保存し、ファイルをインポートします。

ユーザ ファイルをインポートするための手順:

- 手順 1 **[Deploy] > [User Provisioning] > [Import Users]** の順にクリックします。
- 手順 2 **[Import User]** ダイアログボックスで、**[From File]** ラジオ ボタンをクリックします。
- 手順 3 **[Browse]** をクリックして、ユーザ インポートファイルを選択します。
- 手順 4 **[Import]** をクリックします。

インポートするファイルを選択するまで、**[Import]** ボタンは無効のままです。**[Import]** ボタンをクリックすると、**[Import Users]** ページにファイルのインポートステータスが表示されます。前回インポートしたファイルのインポートステータスを表示するには、**[View Last File Import Status]** をクリックします。

Cisco Prime Collaboration Provisioning は、ファイルにより提供される詳細情報に基づいてユーザを作成します。自動プロビジョニングは、サンプルファイルで有効にされているため、Cisco Prime Collaboration Provisioning は **[Employee]** ユーザ権限に基づいてユーザのデフォルト サービスを自動的にプロビジョニングします(事前設定されたユーザ権限の詳細については、前のセクション「ユーザの管理」を参照してください)

サイト固有のダイヤル

事前設定されたダイヤルプランには、E.164 番号のダイヤルと、ダイヤル用の 4 桁を使用したサイト固有の発信の両方をサポートするダイヤルプランが含まれます。事前設定された 4 桁のダイヤルは、現在の 1xxx 形式から 3 桁、5 桁または他の 4 桁(4 桁の DID 番号に一致させる)に変更できます。ユーザの DN は、Prime Collaboration Provisioning を介して Cisco Unified Communications Manager でセットされているため、管理者は内線通話の内線番号として 3 桁、4 桁または 5 桁の数字を使用することもできます。

既存のダイヤルプランは最後の 3 桁のユーザの DID 番号はマスクされるようにセットアップされています。ユーザのデバイスの内線番号は 1XXX であり、3 つの X はユーザの DID 番号になります。プレフィックス 1 は、パターンの重複を排除するために使用されます。内線番号は任意の長さにでき、任意の番号を使用できますが、北米電話番号計画では、ユーザの内線番号の最初の桁は 0 または 9 で開始しないことをお勧めします。

次のセクションでは、内線通話の内線番号の形式が変更された場合に、ダイヤルプランのどの側面を変更する必要があるかについて詳しく説明します。たとえば、DID 範囲が 212-555-3XXX である顧客の場合、内線通話の内部内線は DID 割り当てのユーザ内線番号の最後の 4 桁になります。ダイヤルプランを現在の 1xxx パターンから任意の 3XXX 範囲に変更するには、以下の変更を行う必要があります。

- 1) Cisco Unified CM Administration で、**[User Management] -> [User/Phone Add] -> [Universal Line Template]** に移動します。**[PCP Default Line Template]** を選択します。+E.164 の代替番号を拡張し、番号マスクを 3XXX に設定します。これで、すべてのデバイスには、4 桁のダイヤル用に関連付けられた 4 桁の番号が付きます。
- 2) ダイレクトコールパークが使用され、対象のロット番号がユーザの内線番号と一致するように設定されている場合。この整合性を維持するには、ダイレクトコールパーク番号と検索を、ユーザの電話番号と一致するように変更する必要があります。この変更を行うには、**[Call Routing] -> [Directed Call Park]** に移動します。**[Find]** を選択して、すべてのダイレクトコールパーク番号をリストします。10 個のダイレクトコールパーク番号をそれぞれ選択し、ユーザの内線番号と一致するように最初の番号を変更します。このため、ユーザの電話番号が 3XXX に変更されている場合、最初のダイレクトコールパーク番号の範囲に対する適切な変更は #30XX になります。

- 3) ユーザの電話番号と対応している別の設定は MeetMe 会議番号です。ユーザの電話番号が 3XXX に変更された場合は、ユーザの電話番号に一致するように Meet-Me 会議番号を変更することをお勧めします。デフォルトの MeetMe 番号の範囲は 731XXX です。ユーザの電話番号が 3XXX に変更されている場合、MeetMe 番号の範囲は 733XXX に変更する必要があります。

この同じ汎用プロセスは 3 桁または 5 桁のダイヤルプランを作成する場合にも適用できます。

自動登録:

ほとんどの導入では、事前定義済みの自動登録番号を使用できますが、管理者は、必要に応じて自動登録番号の範囲を変更できます。自動登録の範囲を変更するには、**[Server] -> [Cisco Unified CM] 設定ページに移動します。[Starting Directory Number] と [Ending Directory Number] フィールドを変更し、変更を保存します。**自動登録番号の範囲を変更する場合、その他の変更は必要ありません。

ボイスメールパイロット

ボイスメールパイロット番号は、ボイスメール サービスに到達するために使用されます。デフォルトのボイスメールパイロット番号は、ユーザが電話機のボイスメール ボタンを押すだけでボイスメールに到達できるように設定されています。ボイスメールへの外部ダイレクトアクセスが必要な場合、トランスレーションパターンを変更するだけで、ダイレクトアクセスが有効になります。ボイスメールへのアクセスに使用する外部番号を決定した後、**[Call Routing] -> [Translation Patterns]** に進みます。770000 トランスレーションを選択し、外線番号に一致するように **[Translation Pattern]** フィールドを変更します。保存した後、外線番号にコールを発信すると、コールはボイスメールに直接ルーティングされる必要があります。

インターコム番号:

導入時にインターコム機能を使用する場合、ルートパーティションは PCP_Intercom であり、コーリングサーチスペースは PCP_Intercom_GEN です。

インターコムの設定はこのマニュアルの範囲外です。

Unity アクセス/パイロット番号

事前設定済みのシステムには、特定のボイスメール機能(有効になっている場合)に到達するルートパターンが含まれます。Speech Connect、ライブレコードまたはグリーティング管理者などの機能。異なる機能へのデフォルトのアクセスは 77100x です。いずれかのサービスのデフォルト番号以外の番号を指定する場合は、**[Call Routing] -> [Route/Hunt] -> [Route Pattern]** に移動します。

目的の Cisco Unity Connection 機能パターンを選択し、**[Route Pattern]** の値を変更します。これらの機能のアクセス番号を変更することによって考慮すべきその他の変更はありません。

ハントグループ アクセス

事前設定システムには、会社の特定のグループに使用するデフォルトのハントパイロットが含まれます。デフォルトのグループは、**Finance**、**Help Desk**、**Human Resources**、および **Sales** です。各グループにはデフォルトのハントパイロット番号が付けられていますが、サイト固有の要件に合わせてハントパイロット番号を変更できます。大勢のユーザへのアクセスに使用する番号を変更するには、変更するハントパイロットを設定ページで選択し、「**Hunt Pilot**」の値を変更するだけです。外部発信者がハントパイロットにアクセスできるように変更するには、ハントパイロット番号を外部 **DID** 番号に変更します。新しいパイロット番号は、変更を保存した直後に使用可能になります。

ボイスメールシステムが特定の運用グループにコールをリダイレクトできるかどうかに応じて、任意のハントパイロット番号で変更を反映するために、ボイスメールでコールルーティングの変更が必要になる場合があります。

参考資料

事前設定 OVA は software.cisco.com/download のサイトからダウンロードできます。

[BE6000 の事前設定 OVA のダウンロード](#)

このセクションでは、主に事前設定イメージのスクリーンショットを使用しながらデフォルト設定について詳しく説明します。

この導入のベースラインのデフォルト設定を確認してから、アプリケーション (Unified Communications Manager、Unity Connection、および IM & Presence) ごとに固有のデフォルト設定に関する各セクションを確認できます。

基本設定のデフォルトのガイドライン

事前設定アプリケーションのデフォルト

アプリケーション	命名規則	IP アドレス
Prime Collab Provisioning	pcp	172.27.199.10
Cisco Unified Communications Manager	ucm-pub	172.27.199.11
Cisco Unity Connection	ucn1	172.27.199.12
Cisco IM & Presence	imp1	172.27.199.13

Default Domain
ciscolocal.com

アプリケーション	デフォルト
NTP サーバ	172.27.199.1
DNS サーバ	172.27.199.1

手動で変更する必要があるもの:

- 管理者のユーザ名とパスワードは、最初のログイン時に変更されます。
- NTP サーバ
- DNS サーバ
- タイムゾーン(GMT-8、ロサンゼルス)- デフォルト

Cisco Unified Communications Manager 番号計画

E.164 電話番号が使用されます

E.164 代替番号マスク(1XXX)を DN で使用して、4桁のダイヤルを可能にします

顧客の環境に合わせて 1XXX を変更できます

機能	範囲
内線番号	1XXX
ダイレクト コール パーク/ピックアップ	#1XXX/##1XXX
ボイスメールへの直接転送	*1XXX
自動で登録された内線番号	70 1XXX
コール ピックアップ グループ(10)	72 1XXX
ミーティング	73 1XXX
ハント グループ(5)	75 1XXX
ボイスメール パイロット	77 1000
セルフ プロビジョニング CTI	78 1000
演算子	0
PSTN アクセス	9

Cisco Unified Communications Manager の事前設定

- 有用性：サービスのアクティベーション
- 管理：



- システム
- コール ルーティング
- メディア リソース
- 拡張機能
- デバイス
- ユーザの管理

サービスのアクティベーション

アクティブ化されたサービス

CM Services	
	Service Name
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco CallManager
<input type="checkbox"/>	Cisco Unified Mobile Voice Access Service
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco IP Voice Media Streaming App
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco CTIManager
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Extension Mobility
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Extended Functions
<input type="checkbox"/>	Cisco DHCP Monitor Service
<input type="checkbox"/>	Cisco Intercluster Lookup Service
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Location Bandwidth Manager
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Directory Number Alias Sync
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Directory Number Alias Lookup
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Dialed Number Analyzer Server
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Dialed Number Analyzer
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Tftp

CTI Services	
	Service Name
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco IP Manager Assistant
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco WebDialer Web Service
<input checked="" type="checkbox"/>	Self Provisioning IVR

CDR Services	
	Service Name
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco SOAP - CDRonDemand Service
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco CAR Web Service

Database and Admin Services	
	Service Name
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Bulk Provisioning Service
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco AXL Web Service
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco UXL Web Service
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco TAPS Service

Performance and Monitoring Services	
	Service Name
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Serviceability Reporter
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco CallManager SNMP Service

Security Services	
	Service Name
<input type="checkbox"/>	Cisco CTL Provider
<input type="checkbox"/>	Cisco Certificate Authority Proxy Function

Directory Services	
--------------------	--

[System] > [Cisco Unified CM]



- 自動登録の有効化
- セルフプロビジョニングの有効化
- 自動登録:
電話番号範囲:
701XXX

- Cisco Unified Communications Manager Information

Cisco Unified Communications Manager: CM_ucm-pub (used by 13 devices)

- Server Information

CTI ID: 1

Cisco Unified Communications Manager Server*: ucm-pub

Cisco Unified Communications Manager Name*:

Description:

Location Bandwidth Manager Group:

- Auto-registration Information

Universal Device Template*:

Universal Line Template*:

Starting Directory Number*:

Ending Directory Number*:

Auto-registration Disabled on this Cisco Unified Communications Manager

- Cisco Unified Communications Manager TCP Port Settings for this Server

Ethernet Phone Port*:

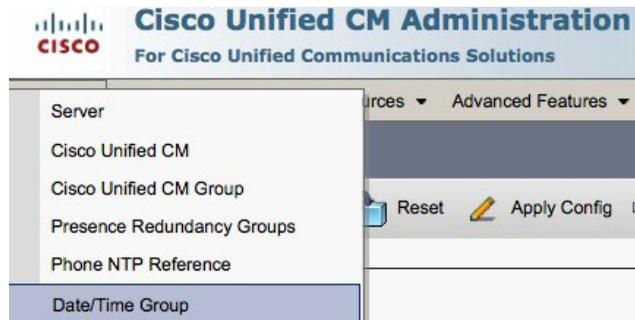
MGCP Listen Port*:

MGCP Keep-alive Port*:

SIP Phone Port*:

SIP Phone Secure Port*:

[System] > [Date/Time Group]



- デフォルト: GMT-8、ロサンゼルス

- Date/Time Group Information

Date/Time Group: PCP_Site One_DTG (used by 11 devices)

Group Name*

Time Zone* Entries with ± are compatible with [legacy phone loads](#)

Separator* (applies to Date Format only)

Date Format*

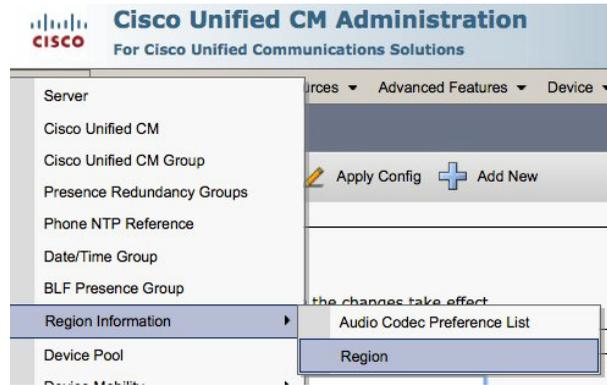
Time Format*

- Phone NTP References for this Date/Time Group

Selected Phone NTP References**

⌵
⌶

[System] > [Region Information] > [Region]



Region Information

Name*

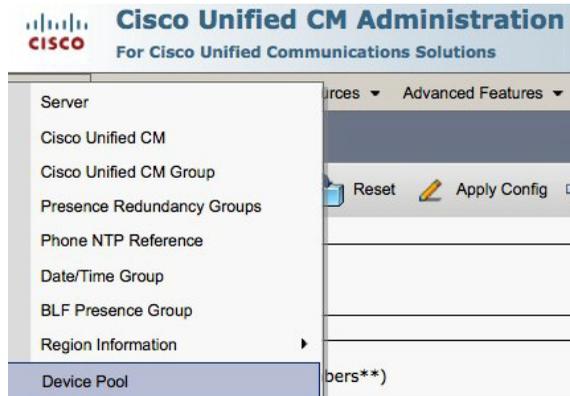
Region Relationships

Region	Audio Codec Preference List	Maximum Audio Bit Rate	Maximum Session Bit Rate for Video Calls	Maximum Session Bit Rate for Immersive Video Calls
Default	Use System Default (Factory Default low loss)	Use System Default (64 kbps (G.722, G.711))	384 kbps	2147483647 kbps
PCP_Site One_VR	Use System Default (Factory Default low loss)	256 kbps (L16, AAC-LD)	6000 kbps	2147483647 kbps
NOTE: Regions not displayed	Use System Default	Use System Default	Use System Default	Use System Default

Modify Relationship to other Regions

Regions	Audio Codec Preference List	Maximum Audio Bit Rate	Maximum Session Bit Rate for Video Calls	Maximum Session Bit Rate for Immersive Video Calls
<input type="checkbox"/> Default <input checked="" type="checkbox"/> PCP_Site One_VR	<input type="radio"/> Keep Current Setting <input type="radio"/> <input type="text" value=""/> kbps	<input checked="" type="radio"/> Keep Current Setting <input type="radio"/> <input type="text" value=""/> kbps	<input checked="" type="radio"/> Keep Current Setting <input type="radio"/> Use System Default <input type="radio"/> None <input type="radio"/> <input type="text" value=""/> kbps	<input checked="" type="radio"/> Keep Current Setting <input type="radio"/> Use System Default <input type="radio"/> None <input type="radio"/> <input type="text" value=""/> kbps

[System] > [Device Pool]



Device Pool Settings	
Device Pool Name *	PCP_Site One_DP
Cisco Unified Communications Manager Group *	PCP_CMGroup
Calling Search Space for Auto-registration	PCP_Site One_DEVICE_CSS
Adjunct CSS	< None >
Reverted Call Focus Priority	Default
Intercompany Media Services Enrolled Group	< None >

Local Route Group Settings	
Standard Local Route Group	PCP_Site One_RG
PSTN	PCP_Site One_RG

Roaming Sensitive Settings	
Date/Time Group *	PCP_Site One_DTG
Region *	PCP_Site One_VR
Media Resource Group List	PCP_Site One_MRGL
Location	Hub_None
Network Locale	< None >
SRST Reference *	Disable
Connection Monitor Duration ***	120
Single Button Barge *	Default
Join Across Lines *	Default
Physical Location	PCP_Site One_PHY
Device Mobility Group	PCP_Mobility_Group
Wireless LAN Profile Group	< None > View Details

Device Mobility Related Information ****	
Device Mobility Calling Search Space	PCP_Site One_DEVICE_CSS
AAR Calling Search Space	PCP_Base_CSS
AAR Group	< None >
Calling Party Transformation CSS	PCP_Base_CSS
Called Party Transformation CSS	PCP_Base_CSS

[System] > [Device Mobility]

Cisco Unified CM Administration
For Cisco Unified Communications Solutions

- Server
- Cisco Unified CM
- Cisco Unified CM Group
- Presence Redundancy Groups
- Phone NTP Reference
- Date/Time Group
- BLF Presence Group
- Region Information
- Device Pool
- Device Mobility**
 - Device Mobility Group
 - Device Mobility Info
- DHCP

Status
Status: Ready

Device Mobility Group Information
Name*: PCP_Mobility_Group
Description: PCP_Mobility_Group

Save Delete Copy Add New

Device Mobility Info (1 - 2 of 2)

Name *	Subnet	Subnet Mask
PCP_Site One_DMI1	0.0.0.0	0
PCP_Site One_DMI2	172.27.199.0	24

Add New Select All Clear All Delete Selected

Device Mobility Info Configuration

Save Delete Copy Add New

Status
Status: Ready

Device Mobility Info Information
Name*: PCP_Site One_DMI1
Subnet*: 0.0.0.0
Subnet Mask (bits size)*: 0

Device Pools for this Device Mobility Info
Available Device Pools: Default
Selected Device Pools*: PCP_Site One_DP

Save Delete Copy Add New

Device Mobility Info Configuration

Save Delete Copy Add New

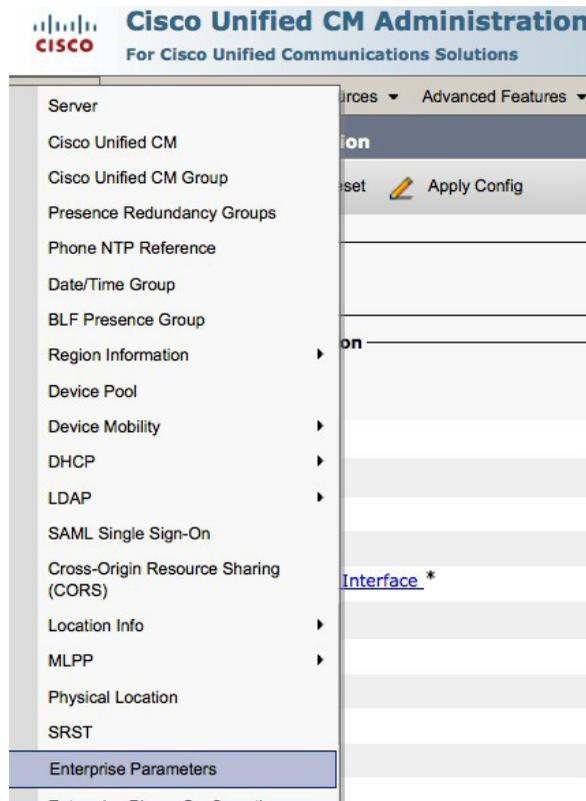
Status
Status: Ready

Device Mobility Info Information
Name*: PCP_Site One_DMI2
Subnet*: 172.27.199.0
Subnet Mask (bits size)*: 24

Device Pools for this Device Mobility Info
Available Device Pools: Default
Selected Device Pools*: PCP_Site One_DP

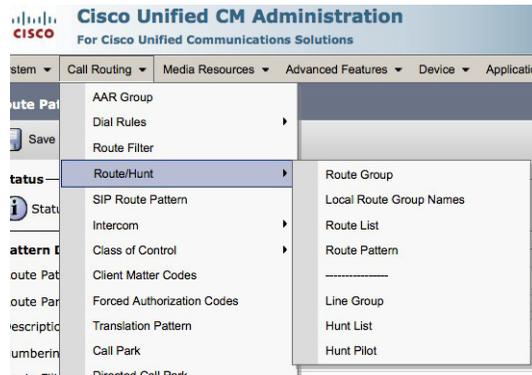
Save Delete Copy Add New

[System] > [Enterprise & System Parameters]



ナビゲーション	パラメータ	値
[System] > [Enterprise Parameters]	Cluster ID	ucm---pub.ciscocal.com
[System] > [Enterprise Parameters]	Auto Registration Phone Protocol	SIP
[System] > [Enterprise Parameters]	BLF For Call Lists	有効化
[System] > [Enterprise Parameters]	URI Lookup Policy	ケース インセンシティブ
[System] > [Enterprise Parameters]	Self Care Portal Default Server	ucm---pub
[System] > [Enterprise Parameters]	Show Ring SeHngs	True
[System] > [Enterprise Parameters]	Show Line Label SeHngs	True
[System] > [Enterprise Parameters]	Show Call Forwarding	すべてのコールの転送のみを表示
[System] > [Enterprise Parameters]	Directory URI Alias Partition	PCP_Base_PT
[System] > [Enterprise Parameters]	<URL Parameters>	<すべてにおいてパブリッシャ FQDN を使用>
[System] > [Enterprise Parameters]	Organization Top Level Domain	ciscocal.com
[System] > [Enterprise Parameters]	Cluster Fully Qualified Domain Name	*.ciscocal.com
[System] > [Enterprise Phone Configuration]	Cisco Camera	有効化
[System] > [Enterprise Phone Configuration]	RTCP	有効化
[System] > [Service Parameters] > [Cisco CallManager]	CDR Enabled Flag	True
[System] > [Service Parameters] > [Cisco CallManager]	Call Diagnostics Enabled	CDR 有効フラグが True の場合のみ有効
[System] > [Service Parameters] > [Cisco CallManager]	Transfer On---hook Enabled	True
[System] > [Service Parameters] > [Cisco CallManager]	Maximum Ad Hoc Conference	8
[System] > [Service Parameters] > [Cisco CallManager]	Maximum MeetMe Conference Unicast	8
[System] > [Service Parameters] > [Cisco CallManager]	Advanced Ad Hoc Conference Enabled	True
[System] > [Service Parameters] > [Cisco CallManager]	Join Across Lines Policy	On
[System] > [Service Parameters] > [Cisco CallManager]	Default Interregion Max Audio Bit Rate	64 kbps (G.722、G.711)
[System] > [Service Parameters] > [Cisco CallManager]	Default Intraregion Max Video Call Bit Rate (Includes Audio)	32256
[System] > [Service Parameters] > [Cisco CallManager]	Default Interregion Max Video Call Bit Rate (Includes Audio)	768
[System] > [Service Parameters] > [Cisco CallManager]	Automated Alternate Routing Enable	True
[System] > [Service Parameters] > [Cisco CallManager]	Matching Caller ID with Remote Destination	部分一致
[System] > [Service Parameters] > [Cisco CallManager]	Number of Digits for Caller ID Partial Match	10

[Call Routing] > [Route/Hunt] > [Route Pattern]



Route Patterns (1 - 6 of 6)

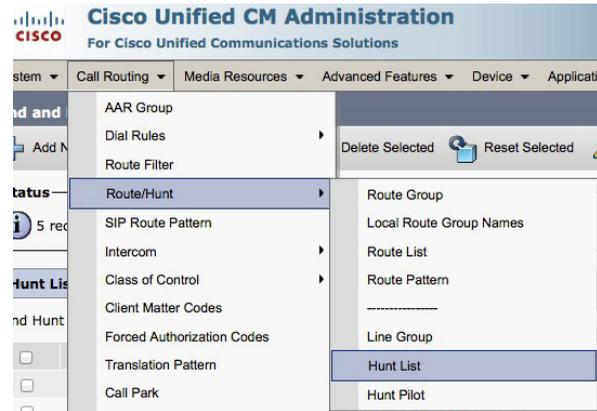
Find Route Patterns where begins with

<input type="checkbox"/>	Pattern ^	Description
<input type="checkbox"/>	771000	Cisco Unity Connection - Voicemail Pilot
<input type="checkbox"/>	771001	Cisco Unity Connection - Speech Connect
<input type="checkbox"/>	771002	Cisco Unity Connection - Live Record
<input type="checkbox"/>	771003	Cisco Unity Connection - Broadcast Administrator
<input type="checkbox"/>	771004	Cisco Unity Connection - Greetings Administrator
<input type="checkbox"/>	771005	Cisco Unity Connection - Visual Voicemail - R-Trap

ルート パターンは Unity Connection に対して作成されます

Prime Collaboration Provisioning のダイヤル プランのテンプレートを使用して、ダイヤル プラン ルート パターンをインポートできます

[Call Routing] > [Route/Hunt] > [Hunt List]

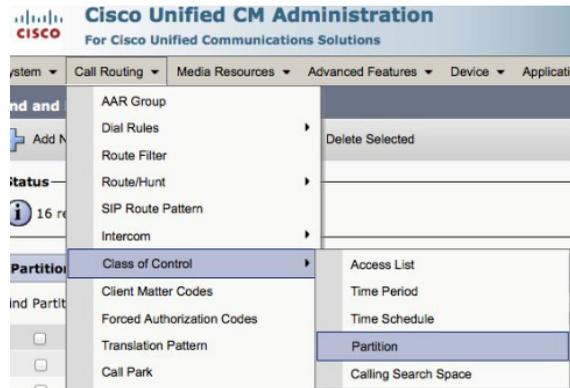


- 5 個のハント パイロットが 751XXX のように作成されます
- ハント グループに対してキューイングを有効にできます
- メンバーは手動で追加されます

A screenshot of the 'Hunt Pilots (1 - 5 of 5)' configuration page. It features a search bar with 'Find Hunt Pilots where' and a dropdown menu set to 'Pattern begins with'. Below the search bar is a table with 5 rows, each representing a hunt pilot. Each row has a checkbox, a pattern, and a description. At the bottom of the table are buttons for 'Add New', 'Select All', 'Clear All', and 'Delete Selected'.

<input type="checkbox"/>	Pattern ^	Description
<input type="checkbox"/>	751000	Queue for Operators (Broadcast)
<input type="checkbox"/>	751011	Hunt List for Finance Team 1
<input type="checkbox"/>	751021	Queue for Help Desk 1
<input type="checkbox"/>	751031	Queue for HR Team 1
<input type="checkbox"/>	751041	Queue for Sales Team 1

[Call Routing] > [Class of Control] > [Calling Search Space]



発信コールおよび機能用に、コーリング サーチ スペースおよびパーティションが作成されています。

説明	CSS 名	パーティション
自動登録用の CSS/ベース電話機	PCP_Base_CSS	PCP_Base_PT
		PCP1_CONF_PT
		PCP1_PARK_PT
		PCP1_PICKUP_PT
サイト 1 の CSS	PCP_Site One_DEVICE_CSS	PCP_Base_PT
		PCP1_CONF_PT
		PCP1_PARK_PT
		PCP1_PICKUP_PT
		PCP3_Site One_EMER_PT
		PCP3_Site One_INTL_PT
		PCP3_Site One_LD_PT
		PCP3_Site One_Local_PT
		PCP3_Site One_TF_PT

[Media Resources] > [Media Resource Group List]



Media Resource Group List Status

Media Resource Group List: PCP_Site One_MRGL (used by 11 devices)

Media Resource Group List Information

Name*

Media Resource Groups for this List

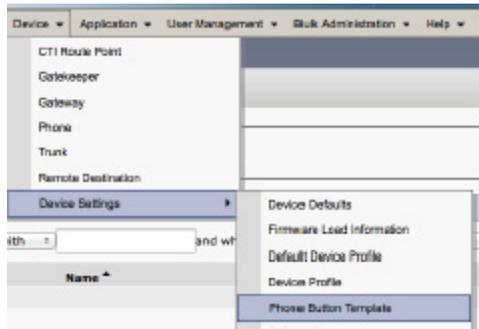
Available Media Resource Groups

v ^

Selected Media Resource Groups

v ^

[Device] > [Device Settings] > [Phone Button Template]



Phone Button Template Configuration Related Links:

Save Delete Copy Reset Apply Config Add New

Status
Status: Ready

Phone Button Template Information
Button Template Name * PCP_PBT

Button Information

Button	Feature	Label
1	Line **	Line
2	Speed Dial	Self Provisioning Speed Dial

2 個の電話ボタン テンプレート:

- セルフプロビジョニング
- User

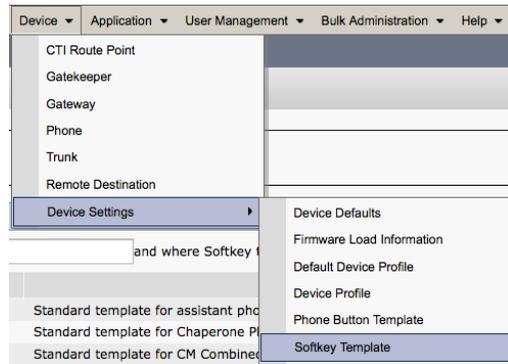
Status
Status: Ready

Phone Button Template Information
Button Template Name * PCP_12PLK_PBT

Button Information

Button	Feature	Label
1	Line **	Line
2	Do Not Disturb	Do Not Disturb
3	Speed Dial	Speed Dial
4	Speed Dial	Speed Dial
5	Speed Dial BLF	Speed Dial BLF
6	Speed Dial BLF	Speed Dial BLF
7	Speed Dial BLF	Speed Dial BLF
8	Speed Dial BLF	Speed Dial BLF
9	Speed Dial BLF	Speed Dial BLF
10	Speed Dial BLF	Speed Dial BLF
11	Speed Dial BLF	Speed Dial BLF
12	Speed Dial BLF	Speed Dial BLF

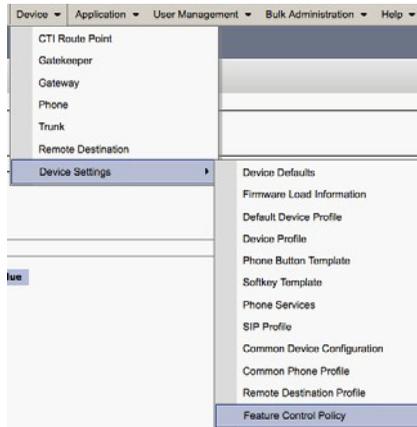
[Device] > [Device Settings] > [Softkey Templates]



- 2 個のソフトキー テンプレートが作成されます。

<input type="checkbox"/>	PCP User with Feature Hardkeys	Default template for phones - features (Hold, Transfer, etc.) on hardkeys
<input type="checkbox"/>	PCP_Jabber-Softkey-Template	Softkey Template for Jabber Service

[Device] > [Device Settings] > [Feature Control Policy]



機能管理ポリシーは、標準の共通電話プロフィールとユニバーサル デバイス テンプレートで使用されます。

- Feature Control Policy Info -

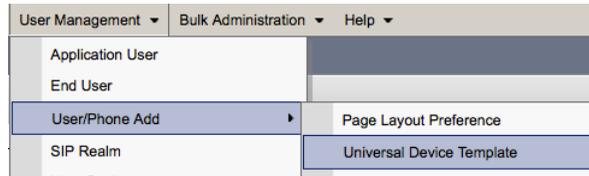
Name*

Description

- Feature Control Section -

Override Default	Feature Name	Enable Setting	Default Value
<input type="checkbox"/>	Barge	<input checked="" type="checkbox"/>	Enabled
<input type="checkbox"/>	Call Back	<input checked="" type="checkbox"/>	Enabled
<input type="checkbox"/>	Call Pickup	<input type="checkbox"/>	Disabled
<input type="checkbox"/>	Conference List	<input checked="" type="checkbox"/>	Enabled
<input checked="" type="checkbox"/>	Divert (Alerting)	<input checked="" type="checkbox"/>	Disabled
<input checked="" type="checkbox"/>	Divert (Connected)	<input checked="" type="checkbox"/>	Disabled
<input type="checkbox"/>	Forward All	<input checked="" type="checkbox"/>	Enabled
<input checked="" type="checkbox"/>	Group Call Pickup	<input checked="" type="checkbox"/>	Disabled
<input checked="" type="checkbox"/>	Meet Me	<input checked="" type="checkbox"/>	Disabled
<input checked="" type="checkbox"/>	Mobility	<input checked="" type="checkbox"/>	Disabled
<input type="checkbox"/>	Other Call Pickup	<input type="checkbox"/>	Disabled
<input type="checkbox"/>	Park	<input type="checkbox"/>	Disabled
<input type="checkbox"/>	Redial	<input checked="" type="checkbox"/>	Enabled
<input type="checkbox"/>	Report Caller	<input type="checkbox"/>	Disabled
<input type="checkbox"/>	Report Quality	<input type="checkbox"/>	Disabled
<input type="checkbox"/>	Speed Dial	<input checked="" type="checkbox"/>	Enabled

[User Management] > [User/Phone Add] > [Universal Device Template]

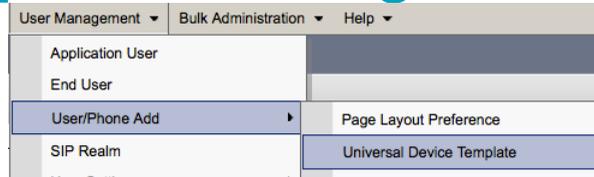


ユニバーサル デバイス テンプレート (UDT) :

- セルフプロビジョニング – PCP_AutoReg
- 従業員 – PCP_SingleLine_UDP

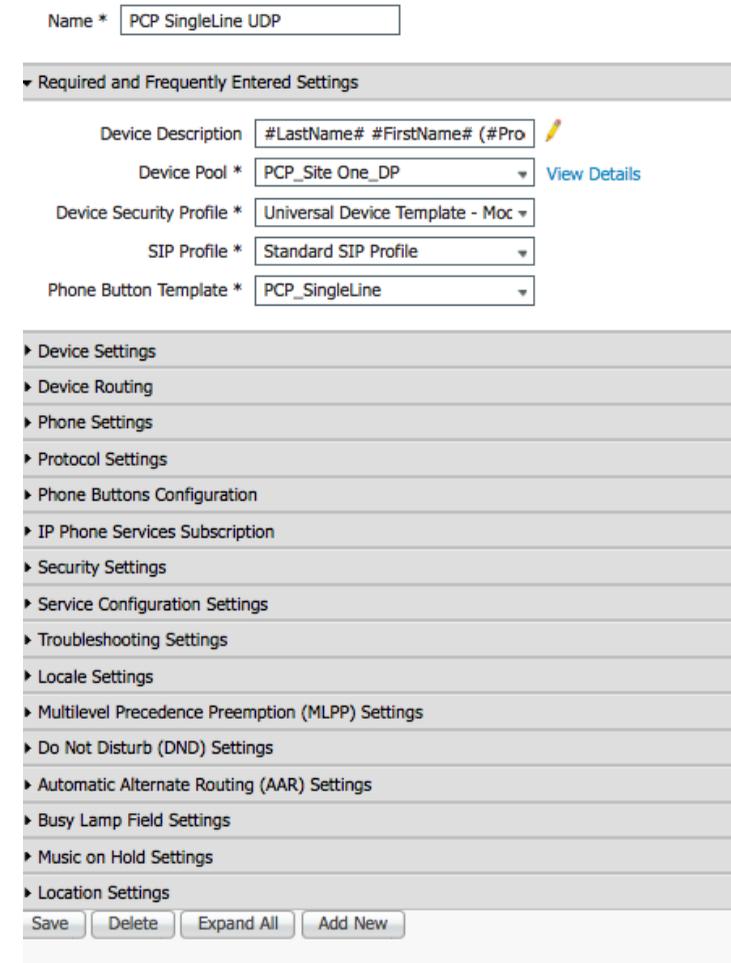
<input type="checkbox"/>	PCP SingleLine UDP	#LastName# #FirstName# (#Product# #Protocol#)
<input type="checkbox"/>	PCP_AutoReg	PCP Auto Registration UDT

[User Management] > [User/Phone Add] > [Universal Device Template]

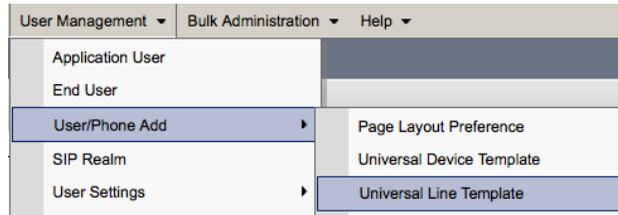


ユニバーサル デバイス テンプレート(UDT):

- 自動登録された電話機に UDT が割り当てられます
- ユーザ プロファイルに UDT が割り当てられます ユーザ プロファイルが各ユーザに割り当てられます。



[User Management] > [User/Phone Add] > [Universal Line Template]



ユニバーサル回線テンプレート (ULT) :

- セルフプロビジョニング – PCP_AutoReg
- 従業員 – PCP のデフォルトの回線テンプレート

Universal Line Templates (1 - 3 of 3)

Find Universal Line Templates where Name begins with Find Clear Filter

<input type="checkbox"/>	Name ^	Description
<input type="checkbox"/>	PCP Default Line Template	#FirstName# #LastName#
<input type="checkbox"/>	PCP_AutoReg	
<input type="checkbox"/>	Sample Line Template with TAG usage examples	#FirstName# #LastName# (#UserID#)

Add New Select All Clear All Delete Selected

[User Management] > [User/Phone Add] > [Universal Line]

ユニバーサル デバイス テンプレート(ULT):

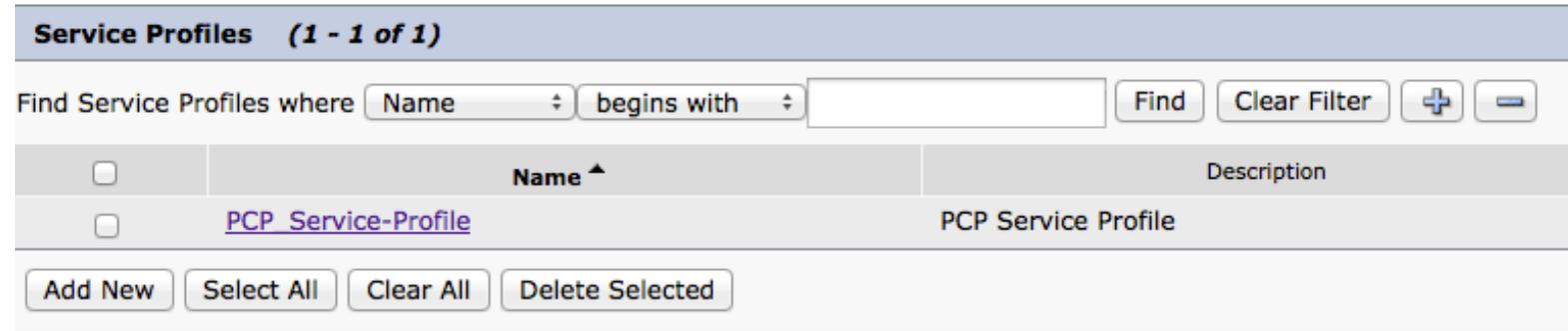
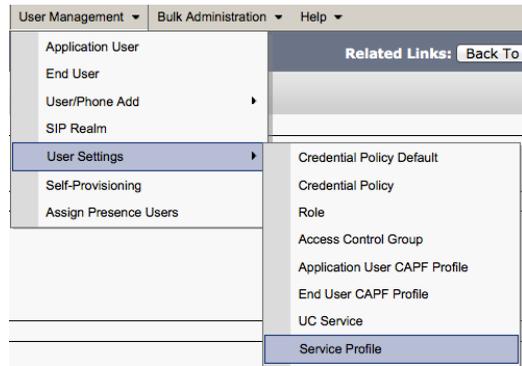
- 自動登録された電話機に ULT が割り当てられます
- ユーザ プロファイルに ULT が割り当てられます ユーザ プロファイルが各ユーザに割り当てられます。

The screenshot shows the 'Universal Line Template Configuration' page. At the top, there are buttons for 'Save', 'Delete', 'Expand All', and 'Add New'. The page is divided into several sections:

- Template Information:** Includes a 'Name' field with the value 'PCP Default Line Template' and an 'Urgent Priority' checkbox.
- Required and Frequently Entered Settings:** Includes fields for 'Line Description' (value: #FirstName# #LastName#), 'Route Partition' (value: PCP_Base_PT), 'Voice Mail Profile' (value: PCP_Connection_Voic), 'Calling Search Space', 'Alerting Name' (value: #FirstName# #LastName#), and 'External Call Control Profile'.
- Directory Number Settings:** Includes a 'Number Mask' field (value: 1XXX), an 'Add to Local Route Partition' checkbox (checked), 'Route Partition' (value: PCP_Base_PT), and an 'Is Urgent' checkbox.
- +E.164 Alternate Number:** Includes an 'Advertise Globally via ILS' checkbox and a 'Remove +E.164 Alternate Number' button.
- PSTN Failover for Enterprise Alternate Number, +E.164 Alternate Number, and URI Dialing:** This section is currently collapsed.

At the bottom of the page, there are buttons for 'Save', 'Delete', 'Expand All', and 'Add New'.

[User Management] > [User Settings] > [Service Profile]



サービス プロファイルは、Jabber に対して作成されます。

- ボイスメール
- メールストア
- IM and Presence
- CTI

[User Management] > [User Settings] > [User Profile]

User Management Bulk Administration Help

- Application User
- End User
- User/Phone Add
- SIP Realm
- User Settings**
 - Credential Policy Default
 - Credential Policy
 - Role
 - Access Control Group
 - Application User CAPF Profile
 - End User CAPF Profile
 - UC Service
 - Service Profile
 - User Profile**
- Self-Provisioning
- Assign Presence Users

User Profiles (1 - 2 of 2) Rows per Page 50

Find User Profiles where Name begins with Find Clear Filter

<input type="checkbox"/>	Name ^	Description	Desk Phones Universal Device Template	Mobile Devices Universal Device Template	Remote Destination/Device Profiles Universal Device Template	Universal Line Template	Self-Provisioning Enabled	Self-Provisioning Device Limit	System Default User Profile
<input type="checkbox"/>	PCP_UserProfile	PCP user profile	PCP_Main_UDT	PCP_Main_UDT	PCP_Main_UDT	PCP_User	true	3	
<input type="checkbox"/>	Standard (Factory Default) User Profile	Standard (Factory Default) User Profile					false	0	Standard (Factory Default) User Profile

ユーザ プロファイルは、エンド ユーザ Web ページのユーザに割り当てられます。

User Profile Configuration

Save Delete Add New

Status
 Status: Ready

User Profile
 Name* PCP_UserProfile
 Description PCP Default User Profile
 Make this the default User Profile for the system

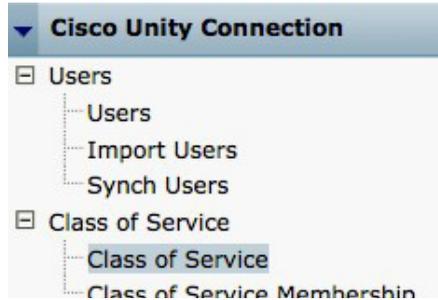
Universal Device Template
 Desk Phones PCP Default UDP [View Details](#)
 Mobile and Desktop Devices PCP Default UDP [View Details](#)
 Remote Destination/Device Profiles PCP Default UDP [View Details](#)

Universal Line Template
 Universal Line Template PCP Default Line Template [View Details](#)

Self-Provisioning
 Allow End User to Provision their own phones
 Limit Provisioning once End User has this many phones

Save Delete Associate Users to this Profile Add New

[Class of Service] > [Class of Service]

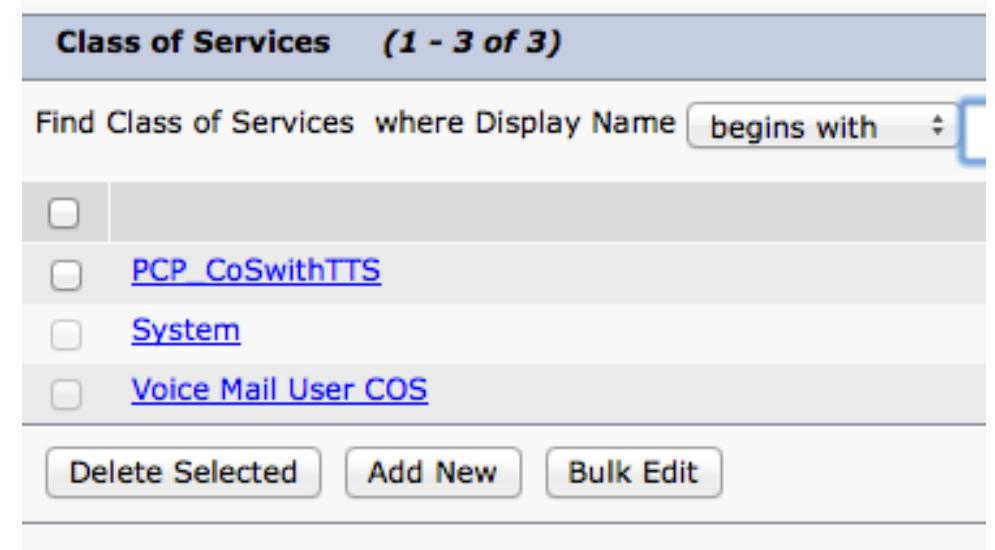


2 種類のサービス クラスが使用されます。

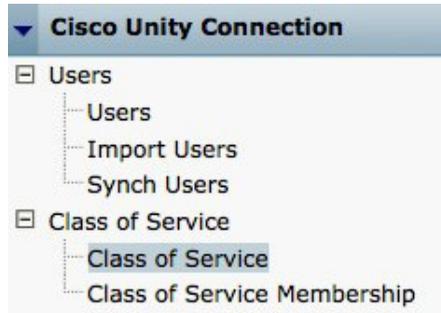
- ボイス メール ユーザの COS
- TTS のある PCP CoS

標準ボイスメール ユーザ – ボイス メール ユーザの COS

TTS のあるボイスメール ユーザ – TTS のある PCP CoS



[Class of Service] > [Class of Service]

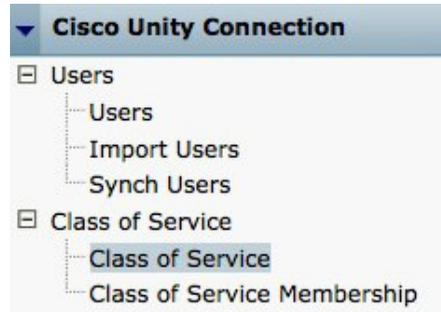


TTS のないサービス クラス

The screenshot shows the 'Edit Class of Service' configuration page for 'PCP_CoSwithoutTTS'. The page is divided into several sections:

- Display Name***: PCP_CoSwithoutTTS
- Recorded Name**:
 - Allow User to Record Name
 - Maximum Length: 30 Seconds
- Directory Listing**:
 - Allow Users to Choose to Be Listed in the Directory
- Greetings**:
 - Maximum Length: 90 Seconds
- Licensed Features**:
 - Allow Users to Access Voicemail Using an IMAP Client and/or Single Inbox
 - Allow IMAP Users to Access Message Bodies
 - Allow IMAP Users to Access Message Bodies Except on Private Messages
 - Allow IMAP Users to Access Message Headers Only
 - Allow Users to Use the Web Inbox and RSS Feeds
 - Allow Access to Advanced Features
 - Allow Access to Exchange Email by Using Text to Speech (TTS)
 - Allow Users to Use Voice Recognition
 - Allow Users to Access SpeechView Transcription Service
 - Use Standard SpeechView Transcription Service
 - Use SpeechView Pro Transcription Service
 - Secure Message Transcription (Speech View Standard/Pro)
 - Do Not Transcribe Secure Messages
 - Allow Transcriptions of Secure Messages
 - Allow Transcriptions of Secure Messages to Be Sent to Notification Devices
- Enable Video**:
 - Allow Users to Playback and Record Video Greetings
 - Allow Outside Callers
- Features**:
 - Allow Users to Use Personal Call Transfer Rules
 - Allow Users to Use the Messaging Assistant
 - Allow Users to Use Unified Client to Access Voicemail
- Alternate Extensions**:
 - Allow Users to View Administrator-Defined Alternate Extensions
 - Allow Users to Manage Their User-Defined Alternate Extensions
- Message Length**:
 - Maximum Length: 300 Seconds
- Message Options**:
 - Allow Users to Send Messages to System Distribution Lists
 - Delete Messages without Saving to Deleted Items Folder
 - Users Can Reply to Messages from Other Users by Calling Them
 - Users Can Reply to Messages from Unidentified Callers by Calling Them
 - Require Secure Messaging: Private
- Private Distribution Lists**:
 - Maximum Lists per User (1-99): 25
 - Maximum Members per List (1-999): 99
- Call Transfer**:
 - Allow Users to Change Call Screening Options
 - Allow Users to Change Call Holding Options
- Restriction Tables**:
 - Outcalling: Default Outdial
 - Transfers: Default Transfer
 - Fax: Default Fax
- Buttons: Save, Delete, Previous, Next

[Class of Service] > [Class of Service]



TTS のあるサービス クラス

The screenshot shows the 'Edit Class of Service' configuration page for 'PCP_CoSwiThTTS'. The configuration is as follows:

- Display Name***: PCP_CoSwiThTTS
- Recorded Name**
 - Allow User to Record Name
 - Maximum Length: 30 Seconds
- Directory Listing**
 - Allow Users to Choose to Be Listed in the Directory
- Greetings**
 - Maximum Length: 90 Seconds
- Licensed Features**
 - Allow Users to Access Voicemail Using an IMAP Client and/or Single Inbox
 - Allow IMAP Users to Access Message Bodies
 - Allow IMAP Users to Access Message Bodies Except on Private Messages
 - Allow IMAP Users to Access Message Headers Only
 - Allow Users to Use the Web Inbox and RSS Feeds
 - Allow Access to Advanced Features
 - Allow Access to Exchange Email by Using Text to Speech (TTS)
 - Allow Users to Use Voice Recognition
 - Allow Users to Access SpeechView Transcription Service
 - Use Standard SpeechView Transcription Service
 - Use SpeechView Pro Transcription Service
 - Secure Message Transcription (Speech View Standard/Pro)
 - Do Not Transcribe Secure Messages
 - Allow Transcriptions of Secure Messages
 - Allow Transcriptions of Secure Messages to Be Sent to Notification Devices
- Enable Video**
 - Allow Users to Playback and Record Video Greetings
 - Allow Outside Callers
- Features**
 - Allow Users to Use Personal Call Transfer Rules
 - Allow Users to Use the Messaging Assistant
 - Allow Users to Use Unified Client to Access Voicemail
- Alternate Extensions**
 - Allow Users to View Administrator-Defined Alternate Extensions
 - Allow Users to Manage Their User-Defined Alternate Extensions

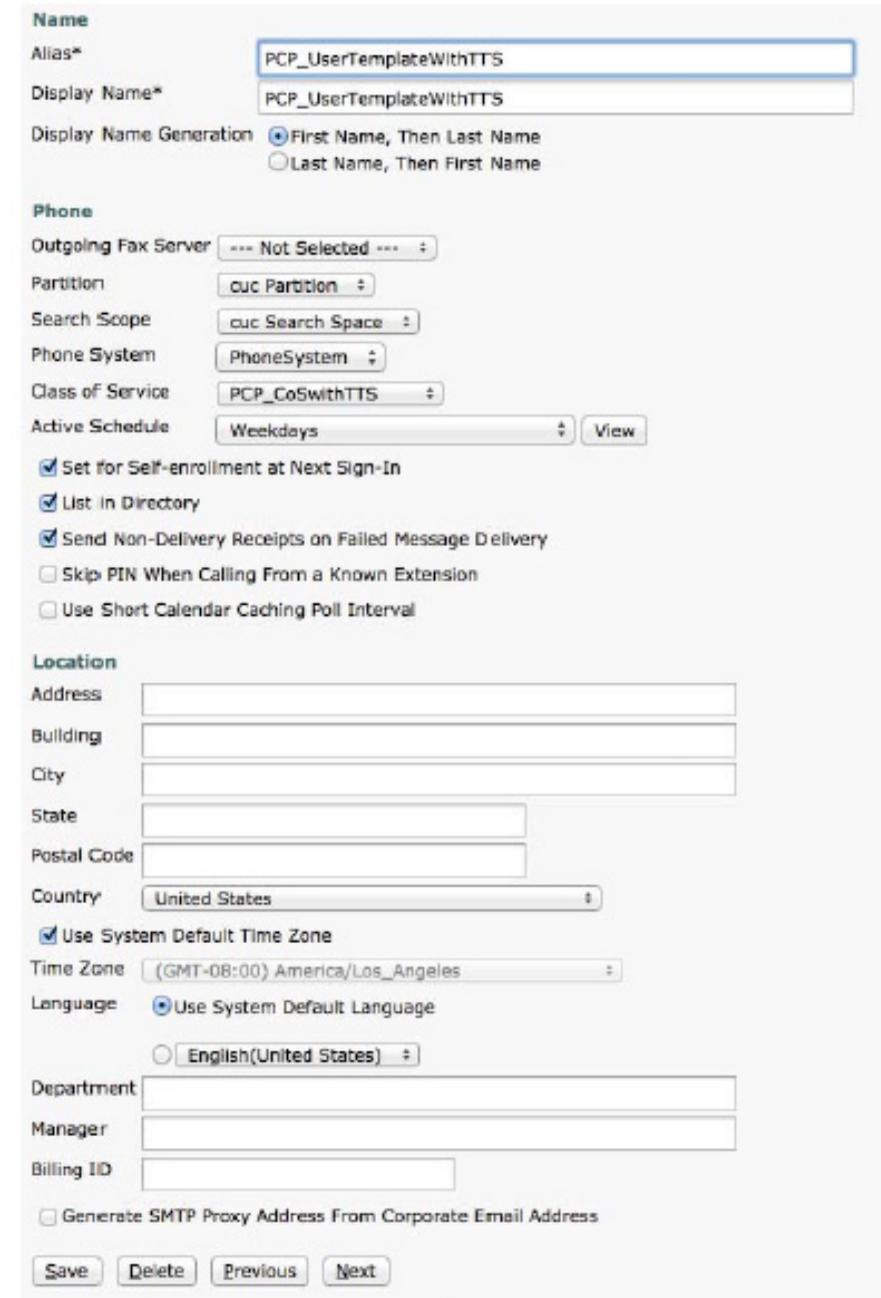
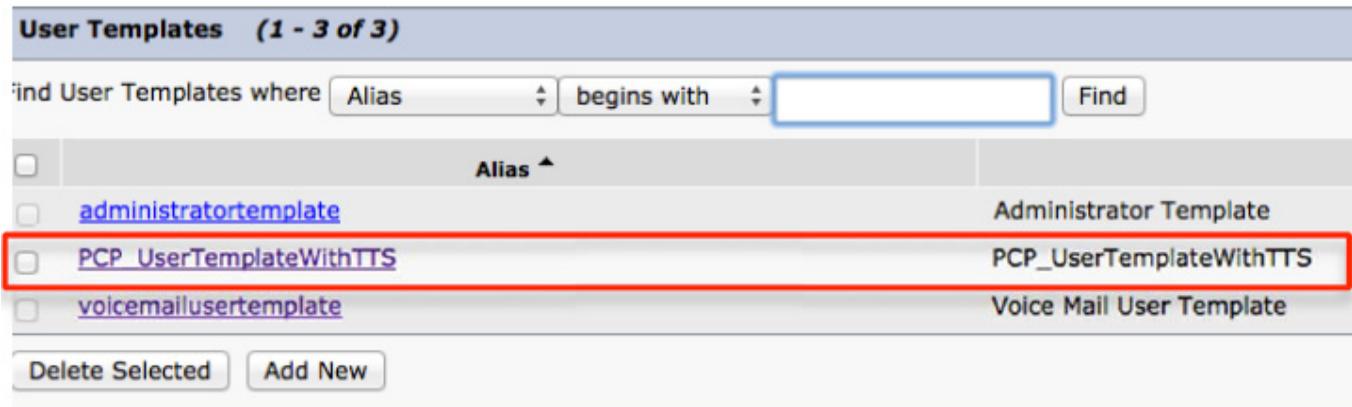
The screenshot shows the 'Message Length' and 'Message Options' configuration page. The configuration is as follows:

- Message Length**
 - Maximum Length: 300 Seconds
- Message Options**
 - Allow Users to Send Messages to System Distribution Lists
 - Delete Messages without Saving to Deleted Items Folder
 - Users Can Reply to Messages from Other Users by Calling Them
 - Users Can Reply to Messages from Unidentified Callers by Calling Them
 - Require Secure Messaging: Private
- Private Distribution Lists**
 - Maximum Lists per User (1-99): 25
 - Maximum Members per List (1-999): 99
- Call Transfer**
 - Allow Users to Change Call Screening Options
 - Allow Users to Change Call Holding Options
- Restriction Tables**
 - Outcalling: Default Outdial
 - Transfers: Default Transfer
 - Fax: Default Fax
- Buttons: Save, Delete, Previous, Next

[Templates] > [User Templates]



1 種類の新しいテンプレートが作成されます



[System Settings] > [Authentication Rules]

- System Settings
 - General Configuration
 - Cluster
 - Authentication Rules
 - Roles
 - Restriction Tables
 - Licenses
 - Schedules
 - Holiday Schedules
 - Global Nicknames
 - Subject Line Formats
 - Attachment Descriptions
 - Enterprise Parameters
 - Service Parameters
 - Plugins
 - Fax Server

Authentication Rules (1 - 2 of 2)

Find Authentication Rules where Display Name begins with

<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	Recommended Voice Mail Authentication Rule
<input type="checkbox"/>	Recommended Web Application Authentication Rule

Authentication Rule Refresh Help

Edit Authentication Rule

Display Name*

Failed Sign-In Attempts No Limit for Failed Sign-Ins

Reset Every Failed Sign-In Attempts Minutes

Lockout Duration Minutes Administrator Must Unlock

Minimum Duration between Credential Changes Minutes

Credential Expires After Days Never Expires

Expiration Warning Days Days

Minimum Credential Length

Stored Number of Previous Credentials

Check for Trivial Passwords

Fields marked with an asterisk (*) are required.

- [-] Call Management
 - System Call Handlers
 - Directory Handlers
 - Interview Handlers
 - Custom Recordings
 - [-] Call Routing
 - Direct Routing Rules
 - Forwarded Routing Rules

Direct Routing Rules in Descending Order of Precedence								
<input type="button" value="Delete Selected"/> <input type="button" value="Add New"/> <input type="button" value="Change Order"/>								
<input type="checkbox"/>	Display Name	Status	Dialed Number	Calling Number	Phone System	Port	Send Call to	Schedule
<input type="checkbox"/>	Visual Voicemail Reverse TRAP	Active	771005				Reverse Trap	
<input type="checkbox"/>	Greetings Administrator	Active	771004				Greetings Administrator	
<input type="checkbox"/>	Broadcast Administrator	Active	771003				Broadcast Message Administrator	
<input type="checkbox"/>	Live Record	Active	771002				Start Live Record	
<input type="checkbox"/>	Speech Connect	Active	771001				Alpha Directory Conversation	
<input type="checkbox"/>	Attempt Sign In	Active	771000				Attempt Sign-In	
<input type="checkbox"/>	Opening Greeting	Active					Transfer Conversation	
<input type="button" value="Delete Selected"/> <input type="button" value="Add New"/> <input type="button" value="Change Order"/>								